

恵那市総合計画後期計画策定に向けた

平成20年度 市民意識調査結果

—報告書—

平成20年10月

恵 那 市

目 次

(1) 調査の概要	1
(2) 回答者の属性	3
(3) 調査結果の要旨	9
(4) 調査結果	13
① 今後の居住意向	13
1) 今後の居住意向	13
2) 恵那市以外で暮らしたい理由	14
② 施策の満足度・重要度	15
1) 個別施策の満足度	15
2) 個別施策の重要度	17
3) 年齢別、居住地別の満足度・不満度・重要度	19
4) 満足度・重要度指数	24
③ 合併後の恵那市について	26
1) 住みよいまちになったか	26
2) 良くなったところ	27
3) 悪くなったところ	28
4) より良い市にするために必要なこと	29
④ 個別の計画について	30
1) 健康づくりについて	30
2) 子育てについて	31
3) 生活環境について	33
4) 環境問題について	34
5) 防災について	35
6) 公共交通について	36
7) 産業振興について	37
8) 学校教育について	39
9) 生涯学習について	40
⑤ 市民参加や市民協働について	41
1) 市民参加や市民協働について	41
2) 地域づくり活動への参加意向	42
3) 市政情報の入手方法	43
4) 市民の意見を市政に反映するために必要なこと	44
⑤ 行財政運営について	45
1) 効率的な行財政運営を行うために重点的に取り組むべきこと	45
(5) その他意見・自由意見	46
① その他意見	46
② 自由意見	56

(1) 調査の概要

① 調査の目的

恵那市では、平成 18 年度から 27 年度を計画期間とする「恵那市総合計画」に着手し 3 年目を迎えました。この調査では、この間市が行ってきたまちづくりの目標や達成度を評価いただくとともに、市民の皆様が日ごろ感じておられることをお聞きし、今後の市政運営や後期計画（H23～H27 年度）策定に当たっての基礎資料とするために実施するものです。

② 調査項目

- ・回答者の属性
- ・市政に対する現状の評価と今後の期待
- ・個別の課題・計画について
- ・市民参加や市民協働について
- ・今後の居住意向について
- ・自由意見

③ 調査対象

この調査は、20 歳以上の市民から無作為に抽出した 2,500 名を対象としています。対象者の抽出は、平成 20 年 4 月現在の住民基本台帳をもとにしています。

④ 調査方法

調査方法は、郵送による配布、回収です。

⑤ 調査期間

平成 20 年 6 月 20 日に発送し、平成 20 年 7 月 4 日を投函締め切りとしました。

⑥ 回収状況

配布数 2,500 票に対して、有効回収数は 1,381 票、有効回収率は 55.2%です。

配布数	有効回収数	有効回収率
2,500 票	1,381 票	55.2%

⑦ 調査結果の見方

1) 標本誤差

アンケートを行う場合、該当者全員を対象として調査を実施することが最も望ましいといえますが、実際には全員を対象とすることは困難であり、相応な人数を選んで精度の高い調査結果を得なければなりません。

この調査では、多くの市民の方に協力をいただき、1,381人から回答結果を得ていますが、これがどの程度の精度を持った回答結果であるのかを示す指標として「標本誤差」があります。

信頼度※を95%とすると、この調査の標本誤差は次式で近似することができます。

$$\varepsilon = 2 \sqrt{\frac{n - N}{n - 1} \times \frac{P(1 - P)}{N}}$$

ε = 標本誤差
 n = 母集団数
 N = 比率算出の基数（サンプル数）
 P = 回答比率

※信頼度とは、この結果がどの程度信頼できるかを示す値で、95%の場合、100回中95回はこの結果にあてはまる（5回はあてはまらないことがありうる）という意味になります。

上記の式を用いると、この調査の標本誤差は以下のように算出されます。

この表の見方は、例えば、「ある設問の回答者数が1,500人あり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.49%以内（57.51%～62.49%）である」とみることができます。

（標本誤差早見表）

回答比率 基数	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,381人	±1.59	±2.12	±2.43	±2.60	±2.65
1,500人	±1.52	±2.03	±2.33	±2.49	±2.54
1,000人	±1.88	±2.50	±2.87	±3.06	±3.13
500人	±2.67	±3.56	±4.08	±4.36	±4.45

母数：45,343人（平成20年4月1日現在20歳以上人口）

2) 留意点

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。
- 基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- 一部のグラフについて、クロス集計をする上で「無回答」を省略しているものがあります。
- 1人の回答者が複数回答する設問では「複数回答」と表示しています。この場合、その比率の合計は100.0%を上回ることがあります。

(2) 回答者の属性

① 性別

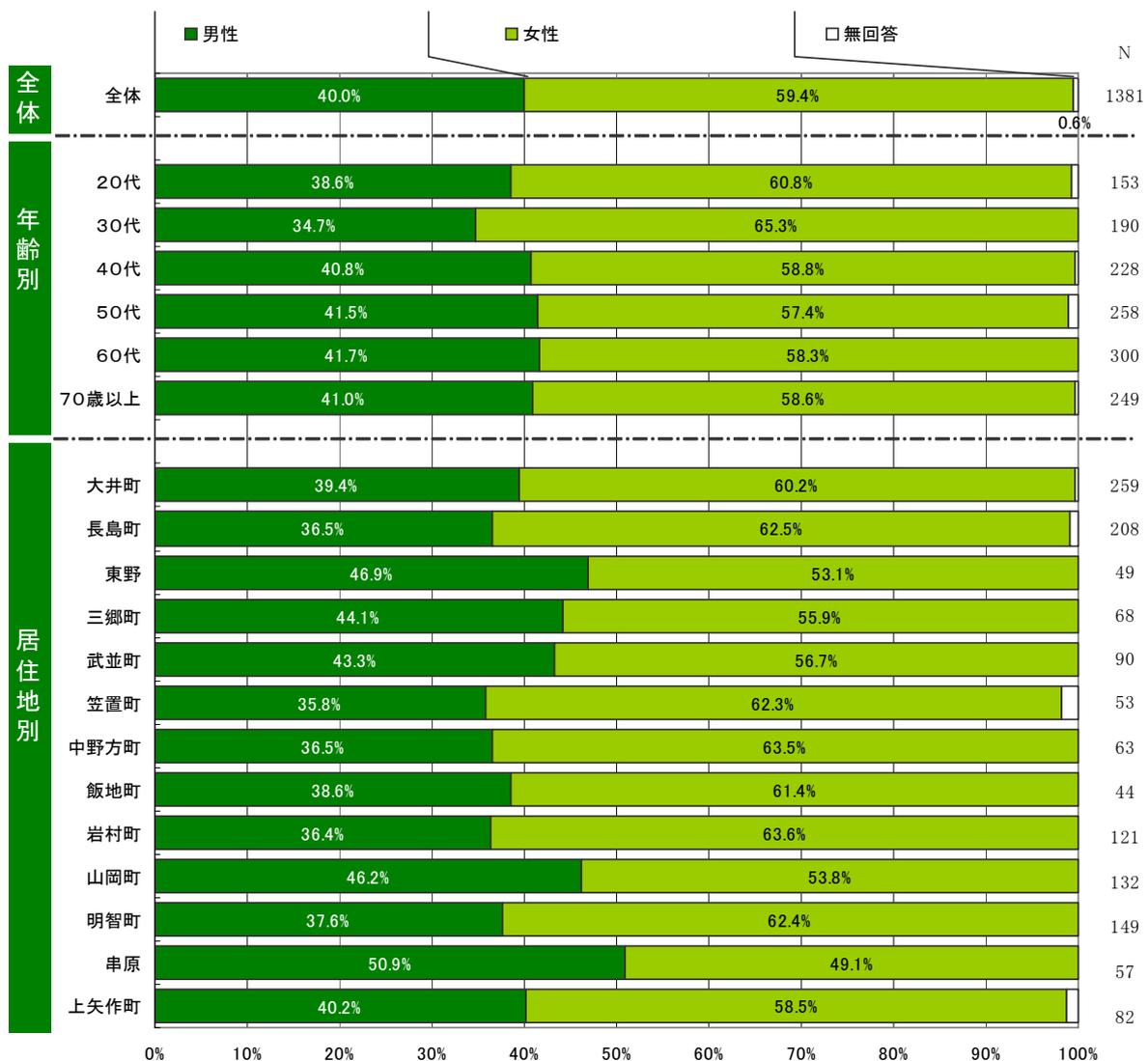
◆設問 1「あなたの性別は？」

回答者の性別は、全体では「男性」40.0%、「女性」59.4%となっています。

年齢別にみると、どの年代においても「女性」の割合が高くなっています。特に30代は「女性」の割合が高く65.3%となっています。

居住地別にみると、串原においてのみ「男性」が「女性」を上回っていますが、他の地区では概ね「男性」40%、「女性」60%という構成比になっています。

図 回答者の性別



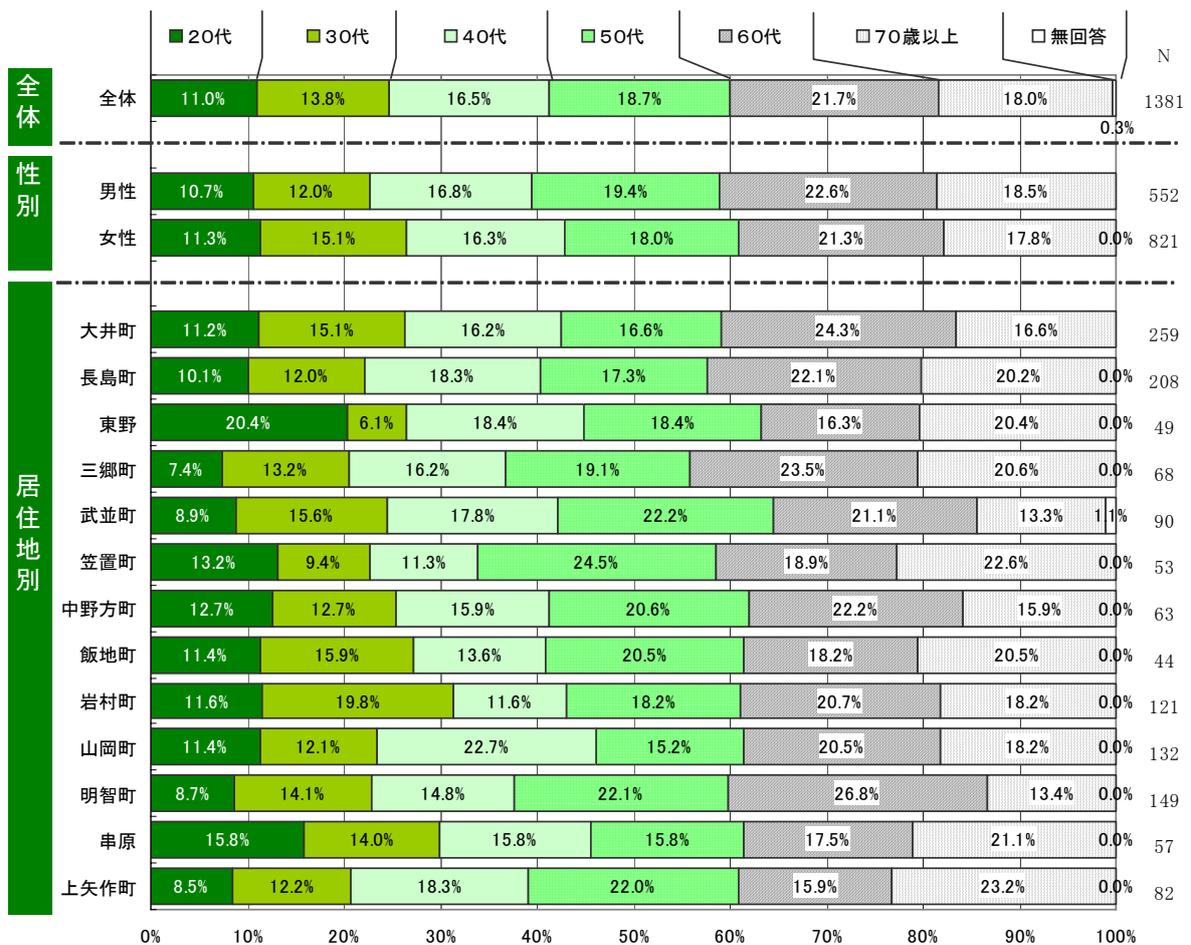
② 年齢

◆設問2「あなたの年齢は？」

回答者の年齢は、全体では「60代」が21.7%で最も高い割合を占め、次いで「50代」が18.7%、「70歳以上」が18.0%となっており、20代～30代の若年層は12%前後となっています。

居住地別にみると、東野では、他の地域に比べて「20代」の割合が高く、60歳以上の割合が低くなっています。

図 回答者の年齢



③ 居住地

◆設問3「あなたがお住まいの地域はどこですか？」

回答者の居住地は、「大井町」が18.8%、「長島町」が15.1%、「明智町」が10.8%などとなっており、地区別人口割合と概ね同様の傾向を示しています。

図 回答者の居住地

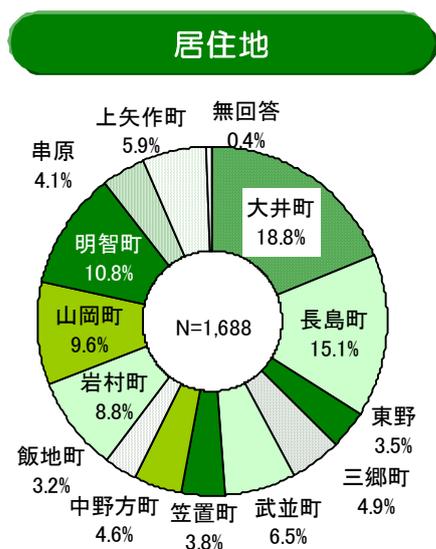


表 (参考) 地区別人口割合

地区	人口	割合
大井町	10,639	23.5%
長島町	8,009	17.7%
東野	1,525	3.4%
三郷町	2,194	4.8%
武並町	2,711	6.0%
笠置町	1,272	2.8%
中野方町	1,540	3.4%
飯地町	681	1.5%
岩村町	4,383	9.7%
山岡町	4,200	9.3%
明智町	5,281	11.6%
串原	787	1.7%
上矢作町	2,121	4.7%
合計	45,343	100.0%

資料

資料：住民基本台帳
(平成20年4月1日現在20歳以上人口)

④ 居住年数

◆設問 4「あなたは恵那市（旧6市町村を含む）に住んで通算何年になりますか？」

回答者の居住年数は、全体では「20年以上」が82.3%と大半を占めています。

性別にみると、男性では「20年以上」が87.5%となっています。

居住地別にみると、大井町、東野、岩村町、串原などでは、居住年数10年以内の比較的新しい居住者の割合が他の地区に比べて若干高くなっています。

図 回答者の居住年数



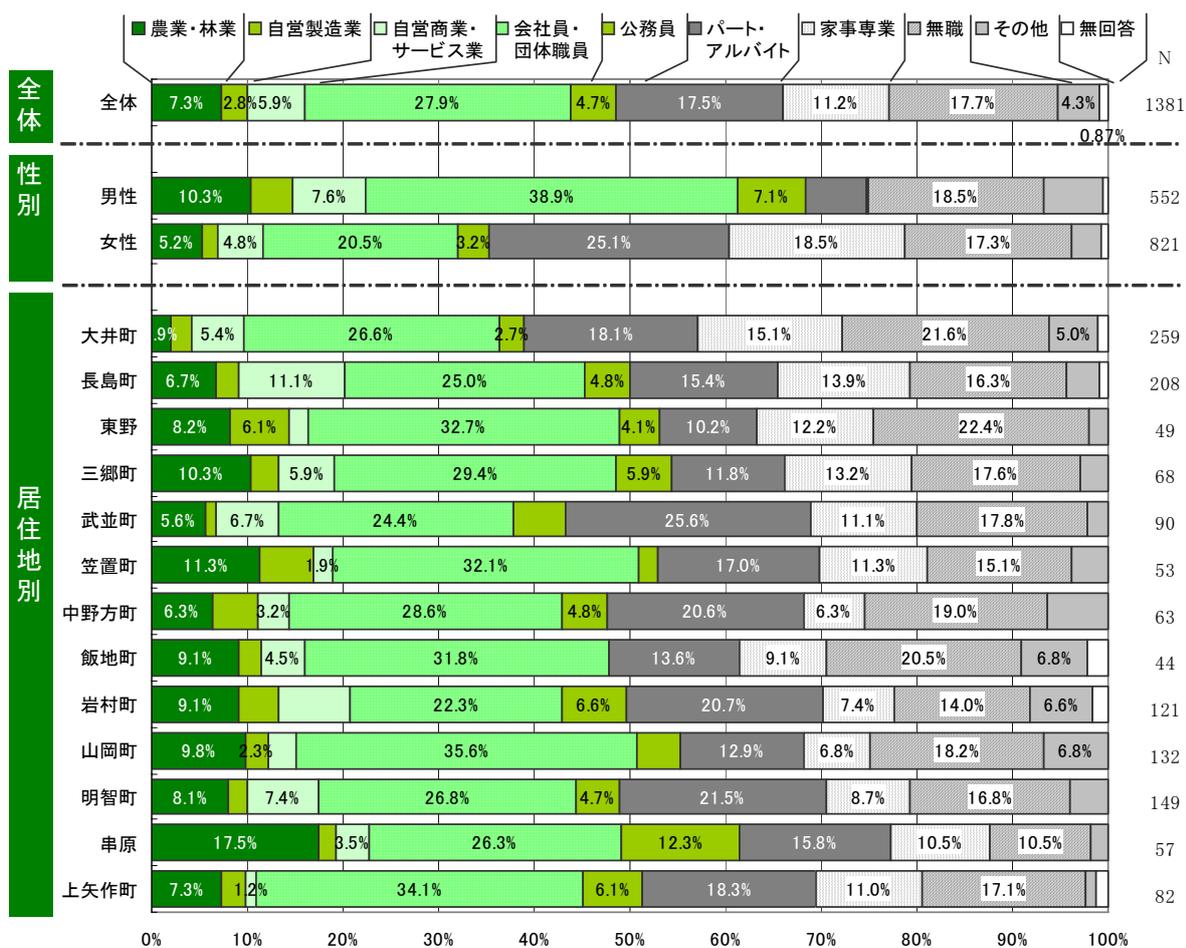
⑤ 職業

◆設問5「あなたの職業は？」

回答者の職業は、全体では「会社員・団体職員」が27.9%で最も高い割合を占め、次いで「無職」17.7%、「パート・アルバイト」17.5%の順になっています。

居住地別にみると、串原、笠置町では「農業・林業」、武並町では「パート・アルバイト」の割合が他地区に比べて高くなっています。

図 回答者の職業



※選択肢の「自由業（開業医・弁護士等）」、「NPO・市民団体職員」、「学生」、「求職中」は、回答数がごくわずかであったため、ここでは「その他」に含めてグラフ化してあります。

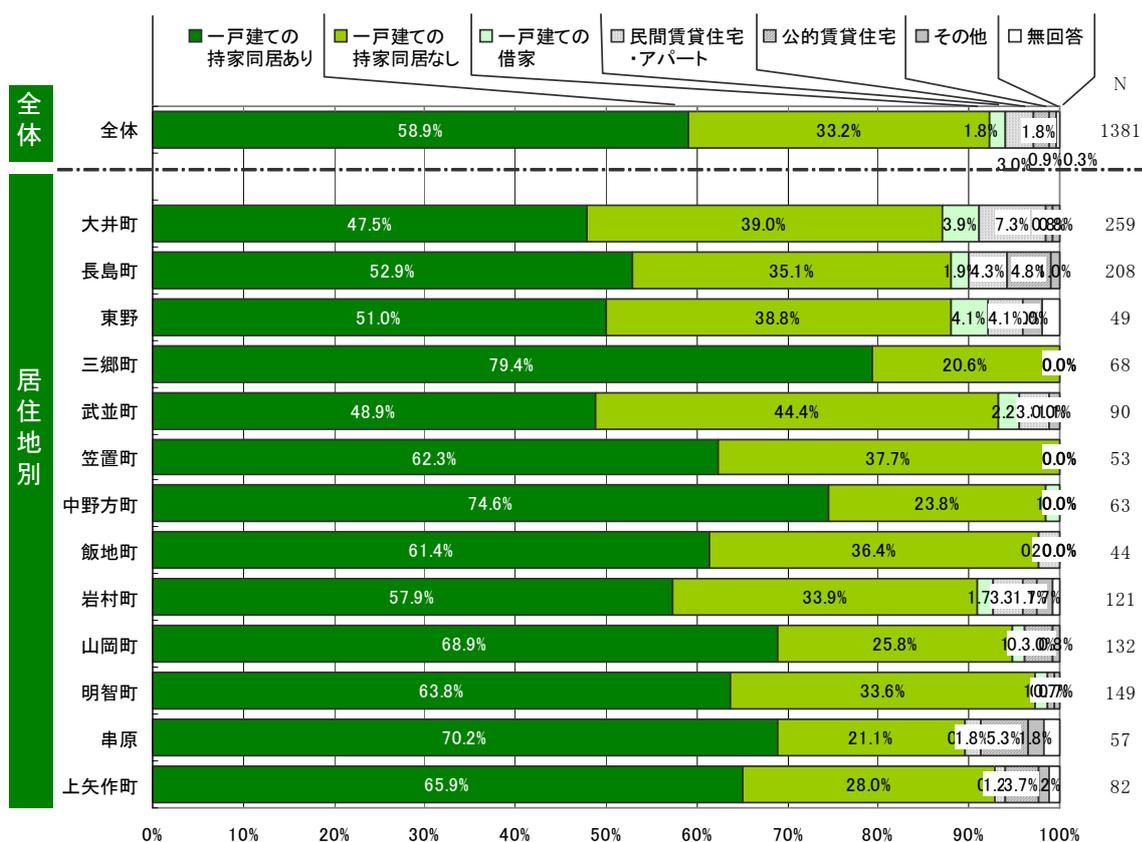
⑥ 住宅の種類

◆設問6「現在あなたがお住まいの住宅の種類は何ですか？」

住宅の種類は、全体では「一戸建ての持家（同居あり）」が58.9%、「一戸建ての持家（同居なし）」が33.2%で、これを合わせると一戸建てが92.1%を占めています。

居住地別にみると、三郷町では「一戸建ての持家（同居あり）」の割合が最も高くなっています。

図 回答者の住宅の種類



※選択肢の「社宅・寮」は、回答数がごくわずかであったため、ここでは「その他」に含めてグラフ化してあります。

(3) 調査結果の要旨

市民意識調査の結果の要旨を以下に整理します。

50代以上では5割が定住を希望、ただし居留意向は前回調査より低下

50代以上では5割以上が市内での定住意向を持っていますが、年齢が若くなるほど定住意向は低くなり、20代～30代では4割前後となっています。前回調査（平成17年度）と比較すると定住意向は全年齢層において低下しており、「市外で暮らしたい」とする割合が高くなっています。市外で暮らしたい理由としては日常生活の不便が多くあげられています。

医療、防犯・防災、福祉などが重点課題

市政に対する現状の評価として、全体では前回調査と同様、上水道等の整備、ごみ収集と処理サービスなどの満足度が高くなっています。逆に、商店街のにぎわい、魅力ある働く場の確保などは、満足度が低くなっています。居住地別にみると、公共交通や幹線道路の整備など、交通施策に対する満足度が低くなっている地域もあることから、地域課題に応じた施策展開が必要となります。

今後重要な施策としては、こちらも前回の調査と同様、医療面や防犯・防災などの安全面、ごみの収集や減量化などの環境面、高齢者福祉や子育てサービスなどの福祉面をあげる市民が多くなっています。

満足度が低く、重要度が高い施策としては、医療、防犯・防災、福祉などがあげられており、今後はこれらの施策を重点的に推進していく必要があります。

合併後、地域の活力が低下。今後は住民意識の醸成と地域間の共生が必要

合併後、良くなったところも、悪くなったところも「特にない」と回答する人が多く、合併により住みよいまちになったと考える人の割合は低くなっています。また、地域の活力が低下してきたと感じている方も多く、恵那市をより良い市にするためには、地域間の共生を図ること、まちづくりは自分たちの手で行うという住民意識の醸成が必要であると考えられており、これらを推進するための行政の役割も求められます。加えて、行財政改革による行政基盤の確立も多くなっています。

健康づくりには、医療体制の充実、スポーツに親しむ環境づくりが必要

男女別にみても、年齢別にみても、健康づくりの充実のためには、医療施設の充実、診療体制の充実が最も多く求められています。次いで、手軽にスポーツに親しむことができる環境づくりが必要とされています。

子育てするうえでは、産科・小児科の充実、経済的支援や保育サービスが必要

男女別、年齢別、地域別すべてにおいて、安心して子育てするために必要なこととして、産科・小児科医療の充実が求められています。また、20代、30代では、子育て家庭に対する経済的な支援や保育サービスの充実も3割以上の方が必要としており、子育て世帯のニーズにあった施策展開を図る必要があります。

対象が拡大された子ども医療費の助成については、合併して良くなったところとしてもあげられており、中学生以下の子どもを持つ世帯にとっては支援策として有効に機能していると考えられます。

安全安心で、自然環境に配慮した生活環境の整備と定住促進

安全安心な居住環境の整備と定住促進が最も求められています。次いでごみ問題の改善、自然環境の保全、生活道路や安全な歩道整備が求められています。地域別にみてもこれらが上位にあげられています。このことから、今後は、安全安心で、自然環境に配慮した生活環境の整備を進める必要があります。

食品の安全、地球環境への関心が高い

食品安全への関心が非常に高くなっています。また、地球温暖化など地球環境への影響に関心がある割合も高くなっています。

年代別にみると、20～40代では地球環境が、50歳以上では食品の安全が最も関心のある項目としてあげられています。

今後は、食品の安全や地球環境に関する理解が深まるよう情報提供や普及啓発などを進める必要があります。

建物・家屋の倒壊に対する対策

全体では、建物・家屋の倒壊することに対して不安に思う割合が突出して高くなっています。次いで地すべり・がけ崩れが起こること、地域の取り組みが希薄なこと、家族との連絡方法があげられています。

今後は耐震診断・耐震補強などを充実させるとともに、地域や家庭内での防災対策をする必要があります。

地域ごとのニーズを捉えた公共交通サービスの提供

全体では、自主運行バスの利便性向上及び利用促進が最も多くあげられており、次いでJR、民間バスの利便性向上があげられています。

地域別にみると、東野や飯地町では乗合タクシー等の、岩村町や山岡町では明知鉄道の利便性向上が多く望まれています。

このことから、地域ごとのニーズを的確に捉え、自主運行バスをはじめとする公共交通サービスの利便性向上を図る必要があります。

農林業などを活かし、観光振興につなげる

恵那市を「活気あるまち」にするためには、地産地商（消）や観光との連携などによる農林業の活性化を進めることが重要と考える市民が多く、次いで地域資源を活かした観光振興を進めることがあげられています。反対に、大型店舗の誘致などは1割程度となっています。

また、工業団地を整備し、企業などを誘致することが重要と考える市民が、観光振興に次いで多くなっており、特に40代50代や自営製造業、会社員・団体職員で多くなっています。

こうしたことから、今後は、農林業や地域資源を活かした、観光振興を図るとともに、企業誘致などによる産業の活性化が求められます。

子どもの道徳心やしつけの向上のため、学校と家庭・地域が連携することが重要

現在の小中学校教育に対して、子どもの道徳心やしつけの低下が懸念されており、重点課題と認識されています。次いで、教職員の資質の向上や家庭教育との連携があげられています。

今後は、教職員の資質の向上を図ると同時に、学校と家庭・地域との連携が重要となってきます。

体験学習機会の充実、生涯学習の基盤作り

子どものころからの体験学習機会を充実させることが求められています。生涯学習のきっかけづくり、基盤作りを行うことが重要であると考えられています。また、生涯学習講座を充実させること、生涯学習体制を充実させることも求められており、これからのニーズに対応した学習機会の拡充を図ることが必要です。

協働のまちづくりに向けて、機会の拡充を図る

市民と行政の協働による地域づくりについて、住民と行政の新しい関係づくりが進んでいると感じている市民は2割程度にしかすぎません。しかし、地域づくり活動に参加したいと思えますかという質問に対しては、約半数の市民が参加したいと回答しており、市民協働の意向はあるものの、進んでいないのが現状と言えます。

協働のまちづくりを進めるためには、行政と市民が意見交換をする場を増やすこと、庁内で行われている会議の内容を知る機会を充実すること、また広報誌などによる市政情報の発信を充実させることが求められます。今後は、市民が気軽に地域づくり活動に参加できる環境やまちづくりへの参加機会を整えていくことで、協働のまちづくりを進めていくことが必要です。

経費の適正化・削減を徹底し、民間との役割を見直すことで行政組織の合理化を

効率的な行財政運営を行うために重点的に取り組むこととして、行政内部の経費の適正化・削減を徹底すること、行政組織を簡素・合理化することなどがあげられています。また、行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せることも求められています。これらを実行し、効率的な行財政運営を行う必要があります。

(4) 調査結果

① 今後の居留意向

1) 今後の居留意向

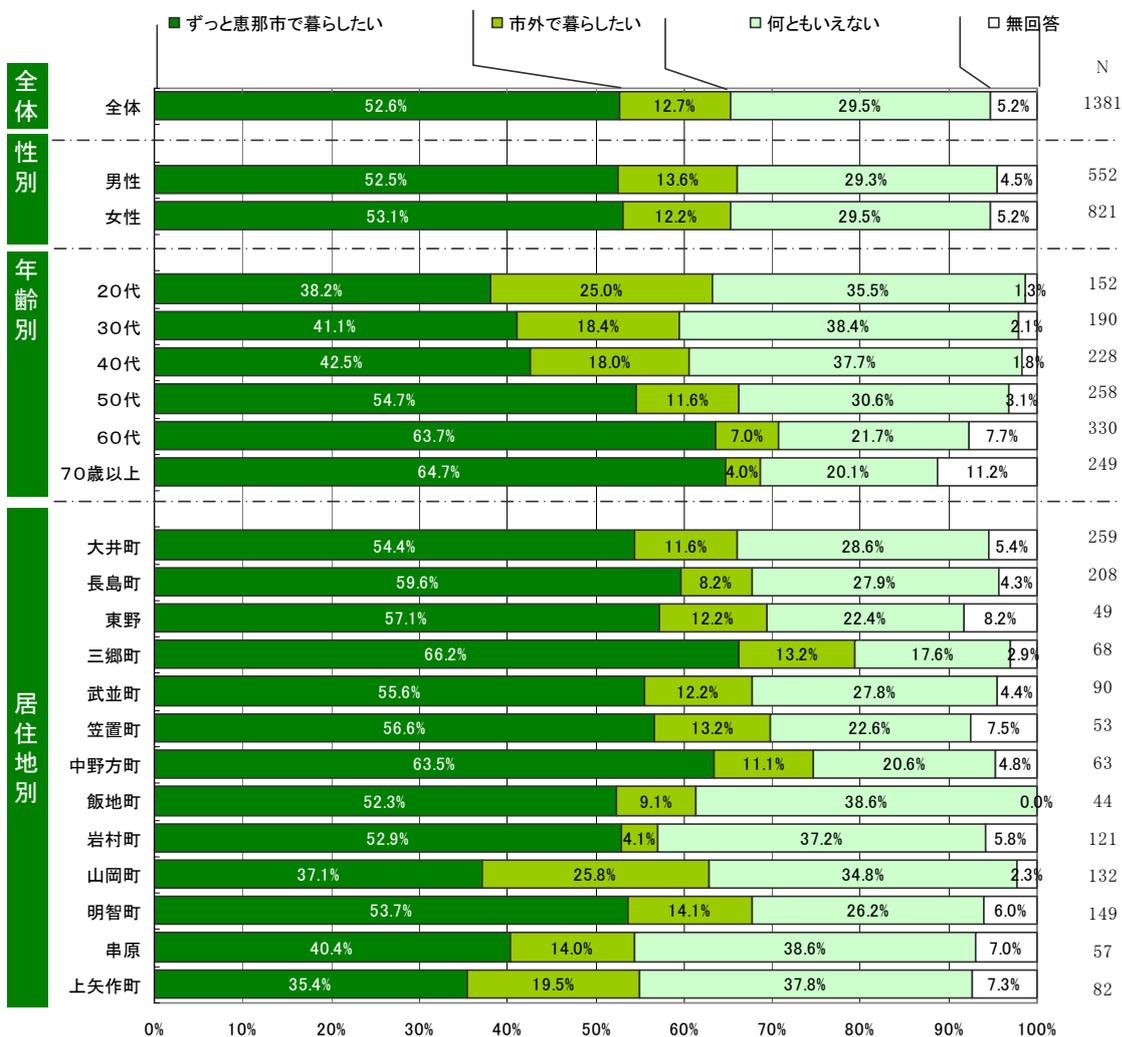
◆設問 12「あなたは今後も恵那市で暮らしたいですか？」

今後も恵那市で暮らしたいかどうかを尋ねたところ、全体では「ずっと恵那市で暮らしたい」が52.6%で、「市外で暮らしたい」12.7%、「何ともいえない」29.5%を大きく上回っています。しかし、前回調査（平成17年度）と比較すると、「ずっと恵那市で暮らしたい」は12.4ポイント下がっています。

性別にみると、男性、女性ともに居住継続意向のある方が半数以上となっています。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「ずっと恵那市で暮らしたい」とする割合が高く、50代以上では半数を超えています。しかし、30代以下の若年層では「何ともいえない」、「市外で暮らしたい」とする割合が他の年代に比べて高く、「ずっと恵那市で暮らしたい」は40%程度となっています。

図 今後の居留意向



2) 恵那市以外で暮らしたい理由

◆設問12「恵那市以外で暮らしたい理由は何ですか？」

「市外で暮らしたい」と回答した方に、恵那市以外で暮らしたい理由を尋ねたところ、「日常生活が不便だから」が34.5%で前回調査時の47.8%よりは低くなっています。次いで「通勤・通学に不便だから」18.1%、「やりたい仕事がないから」8.5%となっています。また、「その他」の理由としては、税金が高いから、産婦人科がないから、子育て支援・福祉が充実していないからなどの意見があげられました。

図 市外で暮らしたい理由

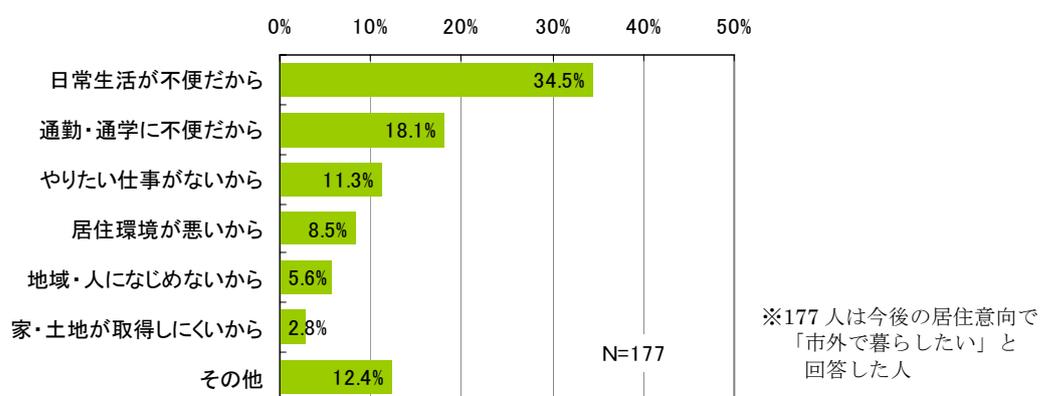


表 年齢別 市外で暮らしたい理由（上位3つ）

年齢	1位		2位		3位	
	理由	割合	理由	割合	理由	割合
20代	日常生活が不便	42.1%	通勤・通学に不便	15.8%	やりたい仕事がない	13.2%
30代	通勤・通学に不便	37.1%	日常生活が不便	34.3%	やりたい仕事がない	11.4%
40代	日常生活が不便	28.6%	通勤・通学に不便	19.0%	その他	14.3%
50代	日常生活が不便	33.3%	やりたい仕事がない その他	16.7%		
60代	日常生活が不便	23.8%	居住環境が悪い その他	19.0%		
70歳以上	日常生活が不便	54.5%	やりたい仕事がない	18.2%	通勤・通学に不便 その他	9.1%

② 施策の満足度・重要度

1) 個別施策の満足度（設問7）

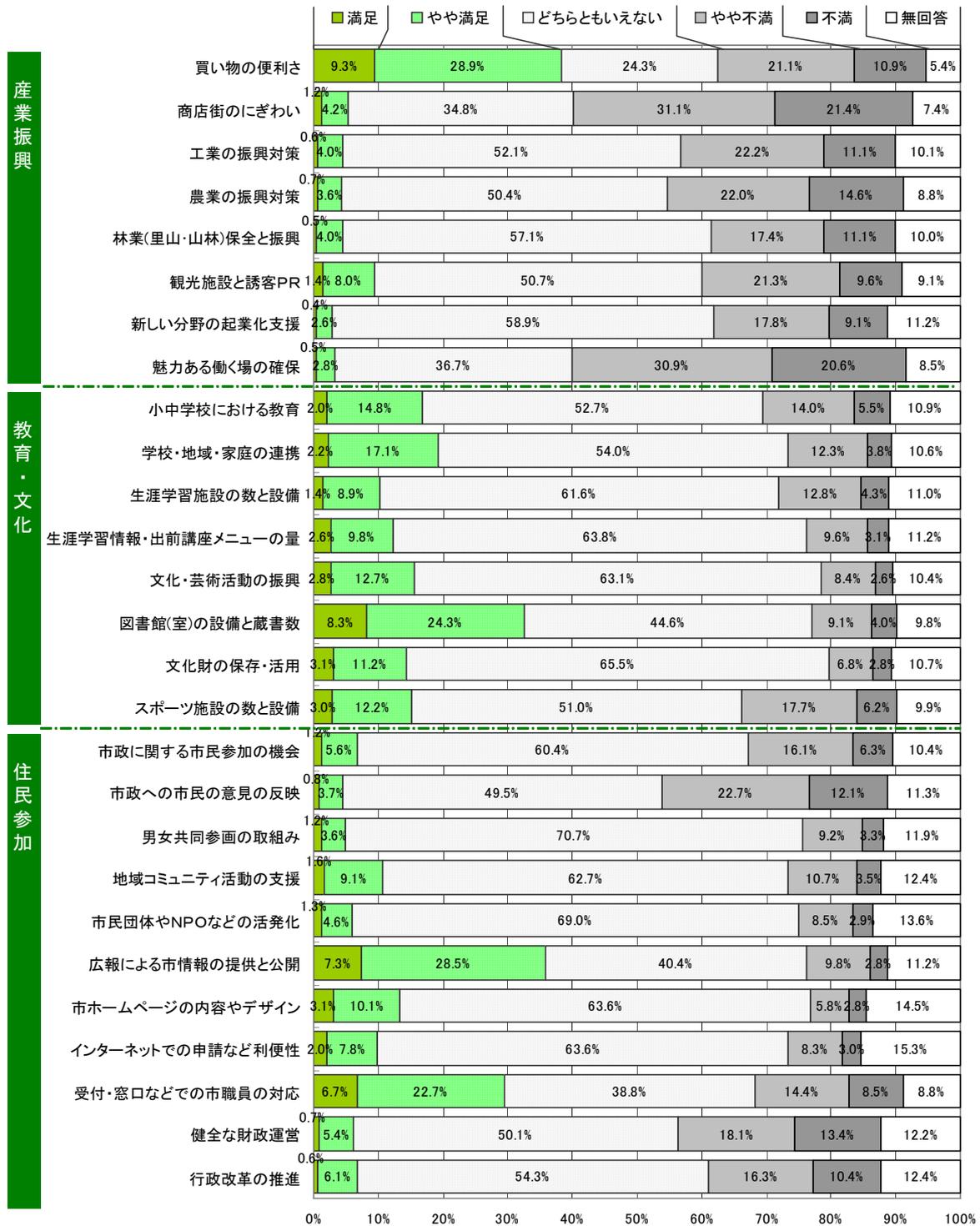
◆設問7「満足度と重要度をお答えください。」

個別施策 55 項目に対する満足度を 5 段階評価で尋ねました。「満足」と「やや満足」をあわせた満足度が最も高かったのは「上水道の整備」で 46.8%、次に「ごみ収集と処理サービス」の 45.0%となっています。一方、「不満」と「やや不満」をあわせた不満度が最も高かったのは「商店街のにぎわい」で 52.5%、次に「魅力ある働く場の確保」の 51.5%となっています。

図 施策の満足度（1）



図 施策の満足度（２）



2) 個別施策の重要度（設問 7）

個別施策 55 項目に対する重要度を 5 段階評価で尋ねました。「高い」と「やや高い」をあわせた重要度が最も高かったのは「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」で 65.3%、次いで「医療機関（恵那・上矢作病院）」63.1%、「健康診断・相談、保健予防」61.1%、「ごみ収集と処理サービス」60.2%となっており、保健・医療面での重要度が高くなっています。

図 施策の重要度（1）

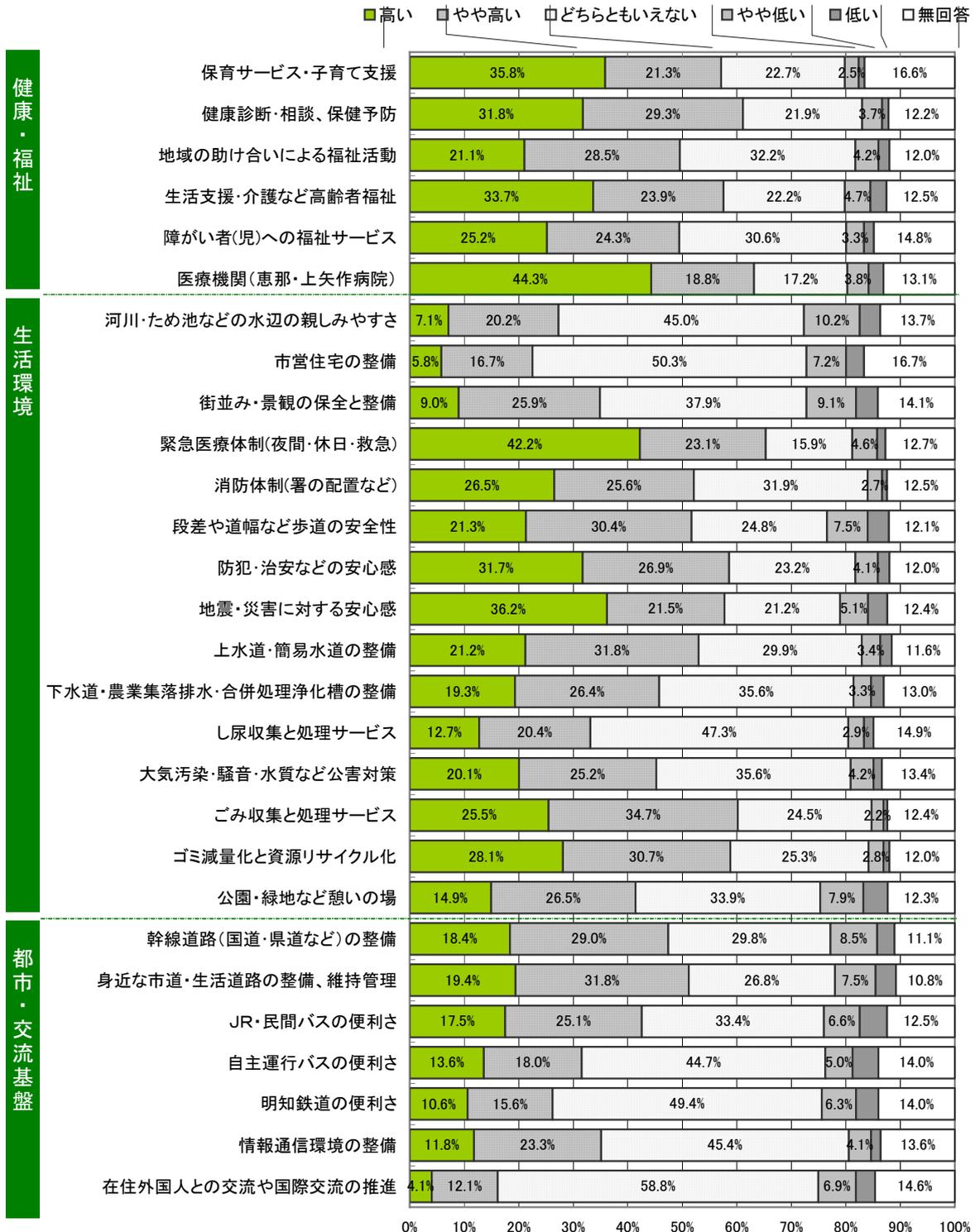
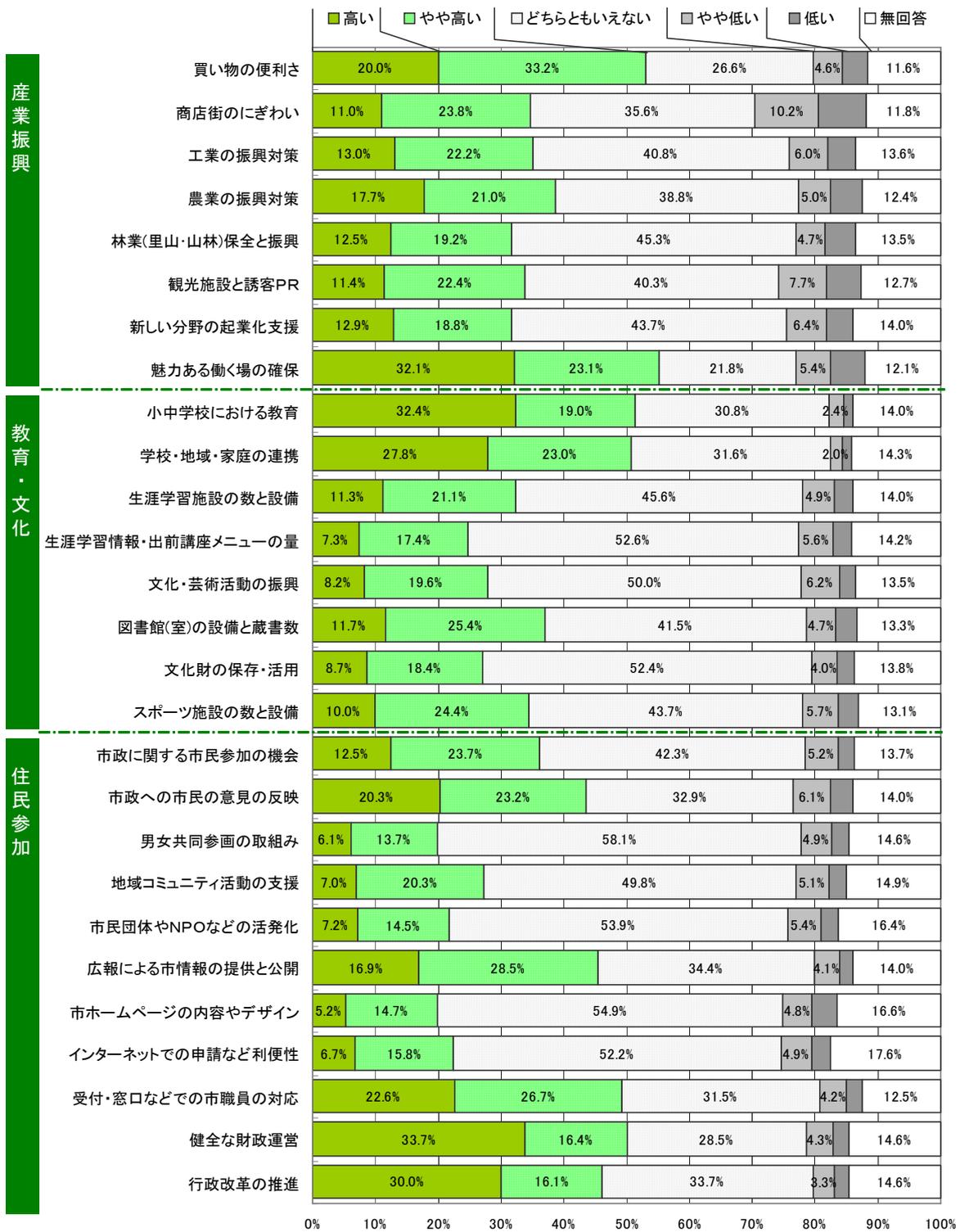


図 施策の重要度（２）



3) 年齢別、居住地別の満足度・不満足度・重要度（設問7）

市全体及び年齢別、居住地別の満足度（満足＋やや満足）、不満足度（やや不満＋不満）、重要度（高い＋やや高い）について、それぞれ上位10施策をあげると次のようになっています。

表 施策の満足度・不満足度・重要度（上位10施策）

【全体】

	満足度の高い施策10	満足度		不満足度の高い施策10	不満足度		重要度の高い施策10	重要度
1	上水道・簡易水道の整備	46.8%	1	商店街のにぎわい	52.5%	1	緊急医療体制	65.3%
2	ごみ収集と処理サービス	45.0%	2	魅力ある働く場の確保	51.5%	2	医療機関	63.1%
3	買い物の便利さ	38.2%	3	JR・民間バスの便利さ	46.9%	3	健康診断・相談、保健予防	61.1%
4	広報による市情報の提供	35.8%	4	段差や道幅など歩道の安全性	41.0%	4	ごみ収集と処理サービス	60.2%
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	33.1%	5	地震・災害に対する安心感	38.5%	5	ごみ減量化と資源リサイクル化	58.8%
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	33.0%	6	医療機関	37.6%	6	防犯・治安などの安心感	58.6%
7	図書館の設備と蔵書数	32.6%	7	農業の振興対策	36.6%	7	地震・災害に対する安心感	57.7%
8	健康診断・相談、保健予防	29.6%	8	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	36.2%	8	生活支援・介護など高齢者福祉	57.6%
9	消防体制	29.5%	9	緊急医療体制	35.5%	9	保育サービス・子育て支援	57.1%
10	受付・窓口などでの市職員の対応	29.4%	10	市政への市民の意見の反映	34.8%	10	魅力ある働く場の確保	55.2%

表 年齢別 個別施策の満足度・不満足度・重要度（上位10施策）

【20代】

	満足度の高い施策10	満足度		不満足度の高い施策10	不満足度		重要度の高い施策10	重要度
1	広報による市情報の提供	39.5%	1	商店街のにぎわい	52.0%	1	医療機関	77.6%
2	図書館の設備と蔵書数	33.6%	2	魅力ある働く場の確保	52.0%	2	緊急医療体制	74.3%
3	上水道・簡易水道の整備	32.9%	3	JR・民間バスの便利さ	51.3%	3	防犯・治安などの安心感	74.3%
4	買い物の便利さ	32.9%	4	地震・災害に対する安心感	47.4%	4	地震・災害に対する安心感	74.3%
5	ごみ収集と処理サービス	30.9%	5	医療機関	45.4%	5	生活支援・介護など高齢者福祉	69.7%
6	健康診断・相談、保健予防	27.0%	6	公園・緑地など憩いの場	43.4%	6	保育サービス・子育て支援	67.8%
7	幹線道路の整備	25.0%	7	段差や道幅など歩道の安全性	41.4%	7	買い物の便利さ	66.4%
8	街並み・景観の保全と整備	24.3%	8	買い物の便利さ	41.4%	8	魅力ある働く場の確保	65.1%
9	保育サービス・子育て支援	21.7%	9	緊急医療体制	36.2%	9	段差や道幅など歩道の安全性	64.5%
10	消防体制	21.7%	10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	33.6%	10	健康診断・相談、保健予防	62.5%

【30代】

	満足度の高い施策10	満足度		不満足度の高い施策10	不満足度		重要度の高い施策10	重要度
1	図書館の設備と蔵書数	39.5%	1	商店街のにぎわい	54.7%	1	緊急医療体制	81.6%
2	保育サービス・子育て支援	36.3%	2	JR・民間バスの便利さ	51.6%	2	保育サービス・子育て支援	78.9%
3	買い物の便利さ	36.3%	3	魅力ある働く場の確保	50.0%	3	医療機関	78.4%
4	上水道・簡易水道の整備	33.7%	4	緊急医療体制	47.9%	4	健康診断・相談、保健予防	73.7%
5	ごみ収集と処理サービス	32.6%	5	公園・緑地など憩いの場	46.3%	5	防犯・治安などの安心感	70.0%
6	広報による市情報の提供	32.6%	6	医療機関	45.3%	6	地震・災害に対する安心感	69.5%
7	消防体制	28.9%	7	段差や道幅など歩道の安全性	41.6%	7	学校・地域・家庭の連携	67.4%
8	健康診断・相談、保健予防	27.9%	8	地震・災害に対する安心感	41.6%	8	生活支援・介護など高齢者福祉	66.8%
9	受付・窓口などでの市職員の対応	27.9%	9	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	38.4%	9	小中学校における教育	66.8%
10	幹線道路の整備	27.4%	10	買い物の便利さ	38.4%	10	魅力ある働く場の確保	64.2%

【40代】

	満足度の高い施策10	満足度		不満足度の高い施策10	不満足度		重要度の高い施策10	重要度
1	上水道・簡易水道の整備	40.8%	1	魅力ある働く場の確保	63.2%	1	緊急医療体制	72.8%
2	買い物の便利さ	38.2%	2	JR・民間バスの便利さ	61.4%	2	医療機関	70.6%
3	図書館の設備と蔵書数	35.1%	3	段差や道幅など歩道の安全性	54.8%	3	健康診断・相談、保健予防	70.2%
4	ごみ収集と処理サービス	33.8%	4	商店街のにぎわい	53.1%	4	保育サービス・子育て支援	69.7%
5	広報による市情報の提供	28.5%	5	医療機関	50.4%	5	防犯・治安などの安心感	68.9%
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	27.6%	6	緊急医療体制	45.6%	6	地震・災害に対する安心感	68.0%
7	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	26.8%	7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	45.2%	7	段差や道幅など歩道の安全性	65.4%
8	保育サービス・子育て支援	22.8%	8	地震・災害に対する安心感	40.8%	8	ごみ減量化と資源リサイクル化	65.4%
9	健康診断・相談、保健予防	22.8%	9	市政への市民の意見の反映	39.9%	9	ごみ収集と処理サービス	64.9%
10	街並み・景観の保全と整備	22.8%	10	公園・緑地など憩いの場	38.6%	10	魅力ある働く場の確保	64.5%

【50代】

満足度の高い施策10		満足度	不満度の高い施策10		不満度	重要度の高い施策10		重要度
1	上水道・簡易水道の整備	48.4%	1	商店街のにぎわい	53.1%	1	緊急医療体制	73.3%
2	ごみ収集と処理サービス	43.0%	2	魅力ある働く場の確保	51.2%	2	医療機関	68.6%
3	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	36.8%	3	JR・民間バスの便利さ	45.3%	3	魅力ある働く場の確保	66.3%
4	買い物の便利さ	36.0%	4	農業の振興対策	44.2%	4	生活支援・介護など高齢者福祉	65.1%
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	33.3%	5	医療機関	42.2%	5	地震・災害に対する安心感	63.6%
6	消防体制	32.2%	6	地震・災害に対する安心感	42.2%	6	ごみ減量化と資源リサイクル化	63.2%
7	広報による市情報の提供	31.0%	7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	41.5%	7	健康診断・相談、保健予防	62.8%
8	幹線道路の整備	29.1%	8	健全な財政運営	39.9%	8	防犯・治安などの安心感	61.6%
9	図書館の設備と蔵書数	29.1%	9	緊急医療体制	39.5%	9	ごみ収集と処理サービス	61.6%
10	健康診断・相談、保健予防	26.4%	10	工業の振興対策	38.4%	10	保育サービス・子育て支援	60.5%

【60代】

満足度の高い施策10		満足度	不満度の高い施策10		不満度	重要度の高い施策10		重要度
1	上水道・簡易水道の整備	57.7%	1	商店街のにぎわい	53.3%	1	ごみ収集と処理サービス	63.7%
2	ごみ収集と処理サービス	57.0%	2	魅力ある働く場の確保	48.3%	2	健康診断・相談、保健予防	61.0%
3	買い物の便利さ	45.0%	3	農業の振興対策	45.7%	3	ごみ減量化と資源リサイクル化	59.7%
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	42.7%	4	JR・民間バスの便利さ	41.7%	4	緊急医療体制	58.0%
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	42.3%	5	段差や道幅など歩道の安全性	38.3%	5	上水道・簡易水道の整備	56.3%
6	健康診断・相談、保健予防	39.7%	6	工業の振興対策	38.0%	6	防犯・治安などの安心感	53.7%
7	広報による市情報の提供	39.7%	7	林業保全と振興	37.3%	7	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	52.0%
8	受付・窓口などでの市職員の対応	35.3%	8	健全な財政運営	36.0%	8	生活支援・介護など高齢者福祉	51.3%
9	消防体制	34.0%	9	市政への市民の意見の反映	34.7%	9	医療機関	51.3%
10	し尿収集と処理サービス	33.7%	10	地震・災害に対する安心感	34.3%	10	買い物の便利さ	51.3%

【70歳以上】

満足度の高い施策10		満足度	不満度の高い施策10		不満度	重要度の高い施策10		重要度
1	ごみ収集と処理サービス	61.4%	1	商店街のにぎわい	49.4%	1	ごみ収集と処理サービス	51.0%
2	上水道・簡易水道の整備	56.6%	2	魅力ある働く場の確保	46.2%	2	上水道・簡易水道の整備	50.6%
3	受付・窓口などでの市職員の対応	44.2%	3	段差や道幅など歩道の安全性	36.9%	3	医療機関	45.0%
4	広報による市情報の提供	43.4%	4	農業の振興対策	36.5%	4	受付・窓口などでの市職員の対応	45.0%
5	健康診断・相談、保健予防	43.0%	5	JR・民間バスの便利さ	36.1%	5	ごみ減量化と資源リサイクル化	43.8%
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	41.4%	6	買い物の便利さ	30.9%	6	広報による市情報の提供	43.8%
7	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	40.6%	7	地震・災害に対する安心感	30.5%	7	消防体制	43.0%
8	買い物の便利さ	36.9%	8	工業の振興対策	30.1%	8	緊急医療体制	42.2%
9	し尿収集と処理サービス	36.5%	9	林業保全と振興	29.7%	9	健康診断・相談、保健予防	41.4%
10	医療機関	34.5%	10	観光施設と誘客PR	29.3%	10	生活支援・介護など高齢者福祉	38.6%

表 居住地別 個別施策の満足度・不満度・重要度（上位10施策）

【大井町】

満足度の高い施策10		満足度	不満度の高い施策10		不満度	重要度の高い施策10		重要度
1	買い物の便利さ	49.8%	1	魅力ある働く場の確保	50.6%	1	健康診断・相談、保健予防	71.0%
2	上水道・簡易水道の整備	48.6%	2	地震・災害に対する安心感	37.5%	2	緊急医療体制	70.7%
3	ごみ収集と処理サービス	48.6%	3	段差や道幅など歩道の安全性	44.4%	3	医療機関	68.7%
4	図書館の設備と蔵書数	47.1%	4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	33.6%	4	ごみ収集と処理サービス	68.0%
5	広報による市情報の提供	41.3%	5	商店街のにぎわい	53.7%	5	ごみ減量化と資源リサイクル化	67.6%
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	39.4%	6	市政への市民の意見の反映	32.4%	6	防犯・治安などの安心感	66.8%
7	健康診断・相談、保健予防	37.5%	7	工業の振興対策	32.0%	7	保育サービス・子育て支援	63.3%
8	受付・窓口などでの市職員の対応	37.5%	8	観光施設と誘客PR	38.6%	8	地震・災害に対する安心感	62.2%
9	幹線道路の整備	32.8%	9	医療機関	35.5%	9	生活支援・介護など高齢者福祉	61.0%
10	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	31.3%	10	JR・民間バスの便利さ	42.1%	10	段差や道幅など歩道の安全性	60.2%

【長島町】

満足度の高い施策10		満足度	不満度の高い施策10		不満度	重要度の高い施策10		重要度
1	買い物の便利さ	57.7%	1	商店街のにぎわい	51.4%	1	緊急医療体制	67.8%
2	図書館の設備と蔵書数	50.5%	2	魅力ある働く場の確保	44.7%	2	医療機関	66.3%
3	上水道・簡易水道の整備	49.5%	3	段差や道幅など歩道の安全性	40.4%	3	健康診断・相談、保健予防	62.5%
4	ごみ収集と処理サービス	48.1%	4	医療機関	39.4%	4	ごみ収集と処理サービス	62.5%
5	広報による市情報の提供	39.4%	5	JR・民間バスの便利さ	37.0%	5	ごみ減量化と資源リサイクル化	62.5%
6	幹線道路の整備	38.5%	6	地震・災害に対する安心感	33.7%	6	生活支援・介護など高齢者福祉	57.7%
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	35.6%	7	緊急医療体制	32.7%	7	防犯・治安などの安心感	57.7%
8	受付・窓口などでの市職員の対応	33.7%	8	公園・緑地など憩いの場	31.3%	8	地震・災害に対する安心感	57.7%
9	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	33.2%	9	農業の振興対策	29.3%	9	保育サービス・子育て支援	57.2%
10	健康診断・相談、保健予防	32.2%	10	観光施設と誘客PR	29.3%	10	上水道・簡易水道の整備	56.7%

【東野】

満足度の高い施策10		満足度	不満度の高い施策10		不満度	重要度の高い施策10		重要度
1	上水道・簡易水道の整備	53.1%	1	段差や道幅など歩道の安全性	55.1%	1	生活支援・介護など高齢者福祉	59.2%
2	買い物の便利さ	49.0%	2	商店街のにぎわい	55.1%	2	医療機関	59.2%
3	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	46.9%	3	魅力ある働く場の確保	46.9%	3	上水道・簡易水道の整備	59.2%
4	広報による市情報の提供	42.9%	4	JR・民間バスの便利さ	42.9%	4	ごみ収集と処理サービス	59.2%
5	受付・窓口などでの市職員の対応	38.8%	5	生活支援・介護など高齢者福祉	38.8%	5	ごみ減量化と資源リサイクル化	59.2%
6	健康診断・相談、保健予防	36.7%	6	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	38.8%	6	受付・窓口などでの市職員の対応	59.2%
7	図書館の設備と蔵書数	36.7%	7	地震・災害に対する安心感	36.7%	7	行財政改革の推進	59.2%
8	し尿収集と処理サービス	34.7%	8	幹線道路の整備	36.7%	8	健康診断・相談、保健予防	57.1%
9	ごみ収集と処理サービス	34.7%	9	農業の振興対策	34.7%	9	緊急医療体制	57.1%
10	消防体制	30.6%	10	観光施設と誘客PR	34.7%	10	地震・災害に対する安心感	57.1%

【三郷町】

満足度の高い施策10		満足度	不満度の高い施策10		不満度	重要度の高い施策10		重要度
1	健康診断・相談、保健予防	38.2%	1	医療機関	38.2%	1	ごみ減量化と資源リサイクル化	60.3%
2	上水道・簡易水道の整備	50.0%	2	緊急医療体制	36.8%	2	ごみ収集と処理サービス	60.3%
3	ごみ収集と処理サービス	50.0%	3	段差や道幅など歩道の安全性	29.4%	3	医療機関	64.7%
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	38.2%	4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	35.3%	4	緊急医療体制	66.2%
5	幹線道路の整備	38.2%	5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	29.4%	5	健康診断・相談、保健予防	67.6%
6	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	33.8%	6	JR・民間バスの便利さ	48.5%	6	生活支援・介護など高齢者福祉	66.2%
7	買い物の便利さ	44.1%	7	商店街のにぎわい	38.2%	7	地震・災害に対する安心感	64.7%
8	図書館の設備と蔵書数	47.1%	8	農業の振興対策	32.4%	8	保育サービス・子育て支援	63.2%
9	広報による市情報の提供	47.1%	9	林業保全と振興	30.9%	9	防犯・治安などの安心感	63.2%
10	受付・窓口などでの市職員の対応	36.8%	10	魅力ある働く場の確保	52.9%	10	魅力ある働く場の確保	64.7%

【武並町】

	満足度の高い施策10	満足度	不満足度の高い施策10	不満足度	重要度の高い施策10	重要度
1	ごみ収集と処理サービス	47.8%	1 商店街のにぎわい	50.0%	1 地震・災害に対する安心感	68.9%
2	下水道・簡易水道の整備	45.6%	2 JR・民間バスの便利さ	48.9%	2 防犯・治安などの安心感	66.7%
3	図書館の設備と蔵書数	37.8%	3 医療機関	46.7%	3 保育サービス・子育て支援	65.6%
4	し尿収集と処理サービス	32.2%	4 防犯・治安などの安心感	43.3%	4 医療機関	65.6%
5	受付・窓口などでの市職員の対応	31.1%	5 農業の振興対策	43.3%	5 緊急医療体制	63.3%
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	30.0%	6 魅力ある働く場の確保	42.2%	6 生活支援・介護など高齢者福祉	62.2%
7	広報による市情報の提供	28.9%	7 地震・災害に対する安心感	40.0%	7 小中学校における教育	61.1%
8	買い物の便利さ	27.8%	8 公園・緑地など憩いの場	38.9%	8 ごみ収集と処理サービス	60.0%
9	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	27.8%	9 買い物の便利さ	38.9%	9 ごみ減量化と資源リサイクル化	60.0%
10	保育サービス・子育て支援	25.6%	10 林業保全と振興	37.8%	10 健康診断・相談、保健予防	58.9%

【笠置町】

	満足度の高い施策10	満足度	不満足度の高い施策10	不満足度	重要度の高い施策10	重要度
1	ごみ収集と処理サービス	50.9%	1 JR・民間バスの便利さ	54.7%	1 緊急医療体制	69.8%
2	広報による市情報の提供	39.6%	2 下水道・簡易水道の整備	50.9%	2 健康診断・相談、保健予防	60.4%
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	37.7%	3 魅力ある働く場の確保	49.1%	3 下水道・簡易水道の整備	58.5%
4	健康診断・相談、保健予防	35.8%	4 商店街のにぎわい	47.2%	4 ごみ収集と処理サービス	58.5%
5	図書館の設備と蔵書数	34.0%	5 身近な市道・生活道路の整備、維持管理	43.4%	5 ごみ減量化と資源リサイクル化	58.5%
6	街並み・景観の保全と整備	30.2%	6 買い物の便利さ	43.4%	6 消防体制	56.6%
7	地域の助け合いによる福祉活動	28.3%	7 下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	41.5%	7 保育サービス・子育て支援	54.7%
8	幹線道路の整備	28.3%	8 農業の振興対策	41.5%	8 医療機関	54.7%
9	買い物の便利さ	28.3%	9 緊急医療体制	39.6%	9 買い物の便利さ	54.7%
10	緊急医療体制	26.4%	10 医療機関	37.7%	10 魅力ある働く場の確保	52.8%

【中野方町】

	満足度の高い施策10	満足度	不満足度の高い施策10	不満足度	重要度の高い施策10	重要度
1	下水道・簡易水道の整備	52.4%	1 魅力ある働く場の確保	52.4%	1 緊急医療体制	52.4%
2	ごみ収集と処理サービス	52.4%	2 JR・民間バスの便利さ	46.0%	2 消防体制	52.4%
3	地域の助け合いによる福祉活動	36.5%	3 買い物の便利さ	46.0%	3 防犯・治安などの安心感	52.4%
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	36.5%	4 地震・災害に対する安心感	36.5%	4 ごみ減量化と資源リサイクル化	49.2%
5	し尿収集と処理サービス	33.3%	5 河川・ため池などの水辺の親しみやすさ	34.9%	5 健康診断・相談、保健予防	47.6%
6	地域コミュニティ活動の支援	31.7%	6 商店街のにぎわい	34.9%	6 地域の助け合いによる福祉活動	47.6%
7	広報による市情報の提供	31.7%	7 緊急医療体制	33.3%	7 医療機関	47.6%
8	受付・窓口などでの市職員の対応	31.7%	8 段差や道幅など歩道の安全性	33.3%	8 地震・災害に対する安心感	47.6%
9	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	28.6%	9 自主運行バスの便利さ	33.3%	9 ごみ収集と処理サービス	47.6%
10	幹線道路の整備	28.6%	10 農業の振興対策	33.3%	10 買い物の便利さ	46.0%

【飯地町】

	満足度の高い施策10	満足度	不満足度の高い施策10	不満足度	重要度の高い施策10	重要度
1	下水道・簡易水道の整備	45.5%	1 身近な市道・生活道路の整備、維持管理	63.6%	1 消防体制	70.5%
2	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	43.2%	2 幹線道路の整備	61.4%	2 緊急医療体制	63.6%
3	ごみ収集と処理サービス	43.2%	3 JR・民間バスの便利さ	61.4%	3 医療機関	61.4%
4	健康診断・相談、保健予防	36.4%	4 買い物の便利さ	59.1%	4 幹線道路の整備	61.4%
5	広報による市情報の提供	36.4%	5 農業の振興対策	52.3%	5 ごみ収集と処理サービス	59.1%
6	し尿収集と処理サービス	34.1%	6 魅力ある働く場の確保	52.3%	6 身近な市道・生活道路の整備、維持管理	59.1%
7	公園・緑地など憩いの場	34.1%	7 商店街のにぎわい	45.5%	7 防犯・治安などの安心感	56.8%
8	地域の助け合いによる福祉活動	31.8%	8 緊急医療体制	43.2%	8 地震・災害に対する安心感	56.8%
9	消防体制	31.8%	9 林業保全と振興	40.9%	9 ごみ減量化と資源リサイクル化	54.5%
10	ごみ減量化と資源リサイクル化	31.8%	10 地震・災害に対する安心感	38.6%	10 健全な財政運営	54.5%

【岩村町】

	満足度の高い施策10	満足度	不満足度の高い施策10	不満足度	重要度の高い施策10	重要度
1	下水道・簡易水道の整備	57.0%	1 JR・民間バスの便利さ	56.2%	1 緊急医療体制	80.2%
2	買い物の便利さ	53.7%	2 商店街のにぎわい	54.5%	2 医療機関	76.9%
3	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	47.1%	3 医療機関	51.2%	3 ごみ収集と処理サービス	71.1%
4	ごみ収集と処理サービス	46.3%	4 魅力ある働く場の確保	47.9%	4 健康診断・相談、保健予防	69.4%
5	街並み・景観の保全と整備	39.7%	5 緊急医療体制	47.1%	5 生活支援・介護など高齢者福祉	67.8%
6	消防体制	39.7%	6 明知鉄道の便利さ	45.5%	6 防犯・治安などの安心感	67.8%
7	幹線道路の整備	36.4%	7 公園・緑地など憩いの場	43.8%	7 地震・災害に対する安心感	65.3%
8	広報による市情報の提供	33.1%	8 市政への市民の意見の反映	41.3%	8 ごみ減量化と資源リサイクル化	65.3%
9	ごみ減量化と資源リサイクル化	28.1%	9 段差や道幅など歩道の安全性	35.5%	9 保育サービス・子育て支援	64.5%
10	健康診断・相談、保健予防	27.3%	10 自主運行バスの便利さ	34.7%	10 魅力ある働く場の確保	64.5%

【山岡町】

満足度の高い施策10		満足度	不満度の高い施策10		不満度	重要度の高い施策10		重要度
1	ごみ収集と処理サービス	40.2%	1	魅力ある働く場の確保	62.1%	1	ごみ収集と処理サービス	59.1%
2	上水道・簡易水道の整備	31.1%	2	商店街のにぎわい	59.8%	2	魅力ある働く場の確保	58.3%
3	広報による市情報の提供	31.1%	3	JR・民間バスの便利さ	57.6%	3	緊急医療体制	57.6%
4	健康診断・相談、保健予防	30.3%	4	買い物の便利さ	50.0%	4	防犯・治安などの安心感	56.8%
5	幹線道路の整備	28.8%	5	工業の振興対策	50.0%	5	健康診断・相談、保健予防	56.1%
6	消防体制	26.5%	6	段差や道幅など歩道の安全性	49.2%	6	上水道・簡易水道の整備	54.5%
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	25.8%	7	地震・災害に対する安心感	47.0%	7	医療機関	53.8%
8	し尿収集と処理サービス	25.0%	8	農業の振興対策	45.5%	8	地震・災害に対する安心感	53.8%
9	受付・窓口などでの市職員の対応	24.2%	9	市政への市民の意見の反映	45.5%	9	ごみ減量化と資源リサイクル化	53.8%
10	保育サービス・子育て支援	22.7%	10	緊急医療体制	43.2%	10	生活支援・介護など高齢者福祉	53.0%

【明智町】

満足度の高い施策10		満足度	不満度の高い施策10		不満度	重要度の高い施策10		重要度
1	買い物の便利さ	42.3%	1	商店街のにぎわい	56.4%	1	緊急医療体制	57.0%
2	上水道・簡易水道の整備	41.6%	2	幹線道路の整備	54.4%	2	保育サービス・子育て支援	53.7%
3	ごみ収集と処理サービス	34.9%	3	段差や道幅など歩道の安全性	51.0%	3	生活支援・介護など高齢者福祉	52.3%
4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	34.2%	4	地震・災害に対する安心感	50.3%	4	地震・災害に対する安心感	52.3%
5	消防体制	30.9%	5	魅力ある働く場の確保	49.0%	5	魅力ある働く場の確保	51.0%
6	広報による市情報の提供	28.2%	6	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	44.3%	6	健康診断・相談、保健予防	49.0%
7	し尿収集と処理サービス	26.8%	7	市政への市民の意見の反映	44.3%	7	医療機関	49.0%
8	健康診断・相談、保健予防	25.5%	8	医療機関	43.6%	8	ごみ収集と処理サービス	48.3%
9	受付・窓口などでの市職員の対応	24.8%	9	公園・緑地など憩いの場	42.3%	9	ごみ減量化と資源リサイクル化	48.3%
10	ごみ減量化と資源リサイクル化	24.2%	10	農業の振興対策	39.6%	10	幹線道路の整備	48.3%

【串原】

満足度の高い施策10		満足度	不満度の高い施策10		不満度	重要度の高い施策10		重要度
1	上水道・簡易水道の整備	64.9%	1	買い物の便利さ	70.2%	1	医療機関	68.4%
2	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	50.9%	2	魅力ある働く場の確保	61.4%	2	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	68.4%
3	ごみ収集と処理サービス	47.4%	3	JR・民間バスの便利さ	57.9%	3	緊急医療体制	64.9%
4	し尿収集と処理サービス	35.1%	4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	56.1%	4	健康診断・相談、保健予防	63.2%
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	33.3%	5	地震・災害に対する安心感	52.6%	5	生活支援・介護など高齢者福祉	63.2%
6	受付・窓口などでの市職員の対応	33.3%	6	幹線道路の整備	52.6%	6	幹線道路の整備	63.2%
7	健康診断・相談、保健予防	31.6%	7	農業の振興対策	50.9%	7	上水道・簡易水道の整備	59.6%
8	広報による市情報の提供	31.6%	8	自主運行バスの便利さ	49.1%	8	地震・災害に対する安心感	57.9%
9	情報通信環境の整備	29.8%	9	商店街のにぎわい	47.4%	9	ごみ収集と処理サービス	57.9%
10	大気汚染・騒音・水質など公害対策	28.1%	10	工業の振興対策	45.6%	10	地域の助け合いによる福祉活動	56.1%

【上矢作町】

満足度の高い施策10		満足度	不満度の高い施策10		不満度	重要度の高い施策10		重要度
1	上水道・簡易水道の整備	51.2%	1	魅力ある働く場の確保	72.0%	1	医療機関	70.7%
2	医療機関	45.1%	2	商店街のにぎわい	70.7%	2	緊急医療体制	65.9%
3	緊急医療体制	42.7%	3	買い物の便利さ	56.1%	3	健康診断・相談、保健予防	61.0%
4	消防体制	40.2%	4	JR・民間バスの便利さ	54.9%	4	生活支援・介護など高齢者福祉	56.1%
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	37.8%	5	自主運行バスの便利さ	48.8%	5	保育サービス・子育て支援	54.9%
6	ごみ収集と処理サービス	37.8%	6	工業の振興対策	48.8%	6	魅力ある働く場の確保	54.9%
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	37.8%	7	農業の振興対策	47.6%	7	防犯・治安などの安心感	52.4%
8	健康診断・相談、保健予防	32.9%	8	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	42.7%	8	上水道・簡易水道の整備	52.4%
9	広報による市情報の提供	32.9%	9	市政への市民の意見の反映	42.7%	9	幹線道路の整備	52.4%
10	し尿収集と処理サービス	31.7%	10	観光施設と誘客PR	41.5%	10	ごみ収集と処理サービス	51.2%

4) 満足度・重要度指数（設問7）

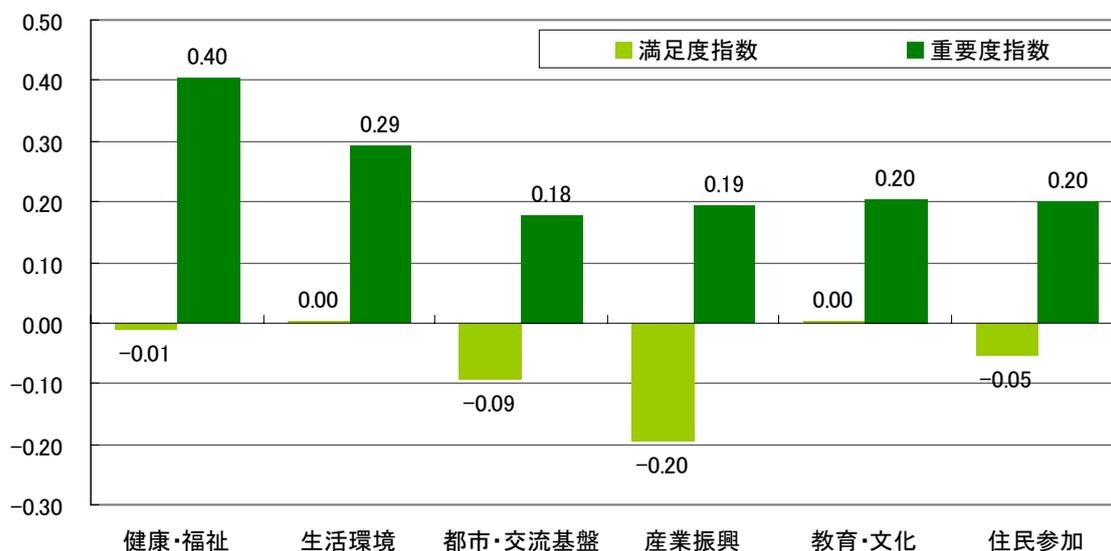
満足度と重要度について、次の表のように点数化し平均値をとったものを、満足度指数、重要度指数と呼び、施策分野別の数値を比較します。

満足度	重要度	点数
満足	高い	+1.0
やや満足	やや高い	+0.5
どちらともいえない	どちらともいえない	0
やや不満	やや低い	-0.5
不満	低い	-1.0

満足度指数で見ると、全ての施策分野で不満もしくは、どちらともいえないと評価されており、「産業振興」で最も不満と評価されています。前回調査（平成17年度）と比較すると、「健康・福祉」は満足度が下がっているものの、その他の施策分野では満足度は上がっています。

重要度指数で見ると、「健康・福祉」、「生活環境」、「教育・文化」、「住民参加」、「産業振興」、「都市・交流基盤」の順に高くなっています。前回調査と比較すると、全体的に重要度は下がっています。

図 施策分野別 満足度・重要度指数

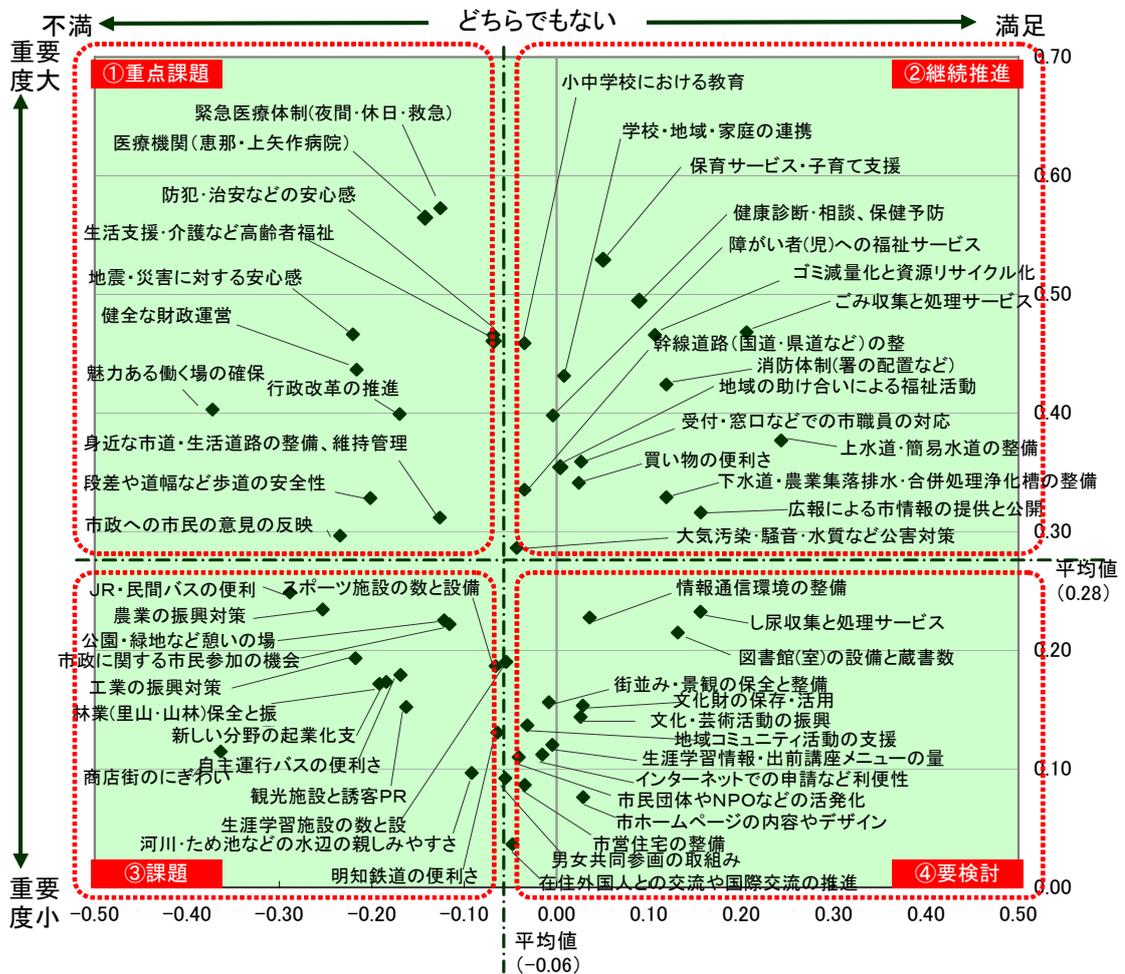


【満足度・重要度指数による各施策の評価】

満足度指数と重要度指数を2軸とするマトリクスを用いて各施策の評価を行うと以下の図のようになります。全施策について満足度指数の平均値は「-0.06」、重要度指数の平均値は「+0.28」であり、この平均値で区分される4つの領域のどこに分布しているかで各施策の評価を行います。

重要度指数が高く満足度指数が低い施策としては、健康・福祉に関して「医療機関」、「生活支援・介護など高齢者福祉」、生活環境に関して「緊急医療体制」、「防犯・治安などの安心感」、「地震・災害に対する安心感」、「段差や道幅など歩道の安全性」、都市・交流基盤に関して「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」、産業振興に関して「魅力ある働く場の確保」、教育・文化に関して「小中学校における教育」、住民参加に関して「健全な財政運営」、「行政改革の推進」、「市政への市民の意見の反映」があげられています。

図 満足度と重要度による施策評価マトリクス



区分	満足度指数	重要度指数	施策評価の目安
①重点課題	平均未満	平均以上	最も課題のある施策であり重点的に推進する
②継続推進	平均以上	平均以上	継続的に市民の満足度を得られるよう施策を推進する
③課題	平均未満	平均未満	課題のある施策であり必要性を検証し施策を推進する
④要検討	平均以上	平均未満	一定の成果が得られており継続の必要性を検証する

③ 合併後の恵那市について

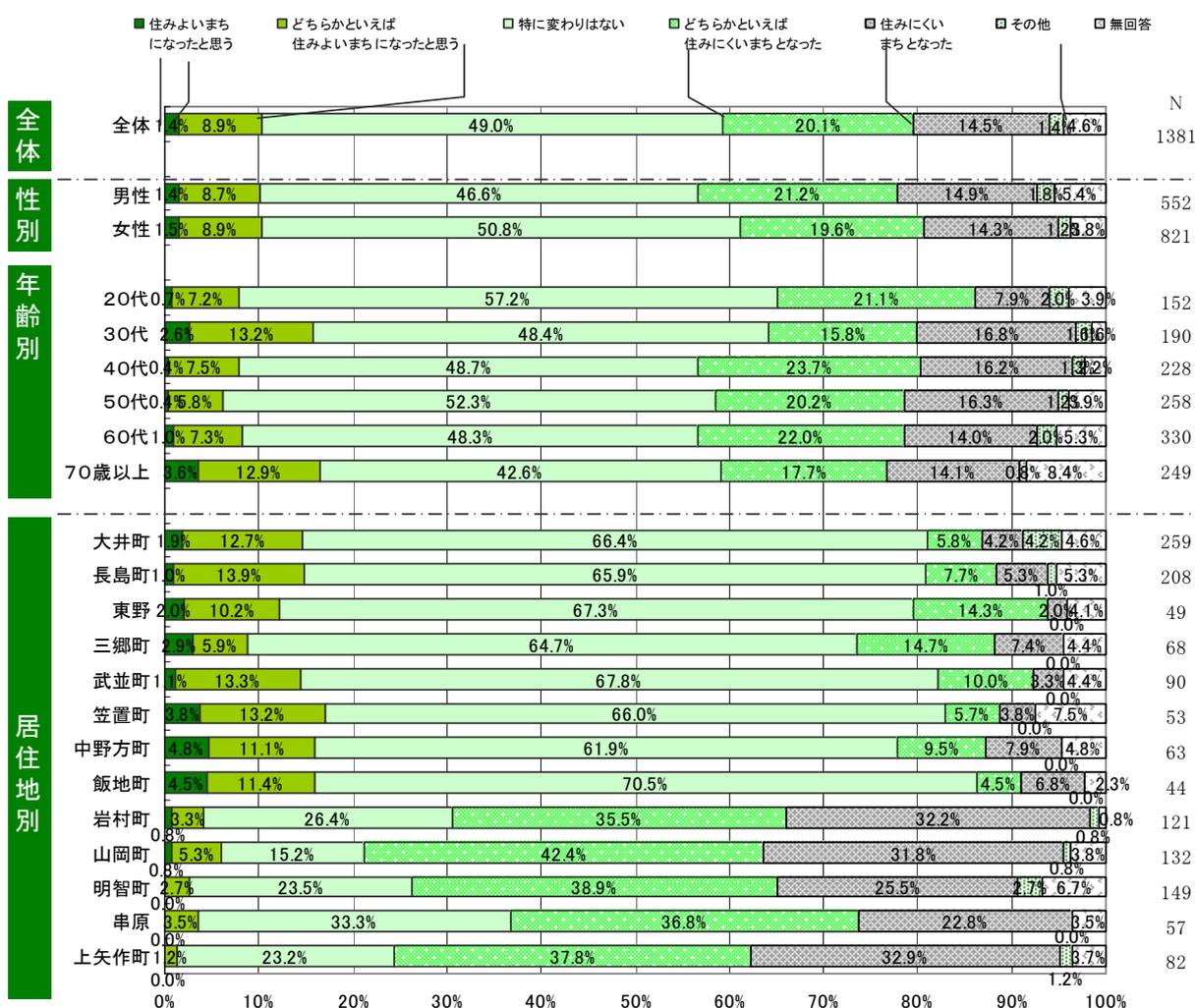
1) 住みよいまちになったか

◆設問8「合併後の恵那市は住みよいまちになったと思いますか？」

合併後の恵那市は住みよいまちになったかについて尋ねたところ、全体では「住みよいまちになったと思う」1.4%、「どちらかと言えば住みよいまちになったと思う」8.9%となっています。「特に変わりはない」が約半数を占めており、「どちらかといえば住みにくいまちとなった」、「住みにくいまちとなった」が合わせて34.6%となっている。

地域別に見ると、岩村町、山岡町、明智町、串原、上矢作町では「どちらかといえば住みにくいまちとなった」、「住みにくいまちとなった」を合わせると半数以上にのぼっています。

図 住みよいまちになったか



2)良くなったところ

◆設問9「合併後の恵那市の良くなったところは何ですか？」

合併後の恵那市に良くなったところについて尋ねたところ、全体では「特にない」が48.4%で最も多く、次いで「上下水道やゴミ処理など生活の基本となるサービスが良くなった」が11.1%となっています。その他の意見としては「子どもの医療費が中学三年まで無料になったこと」などがあげられています。

図 良くなったところ

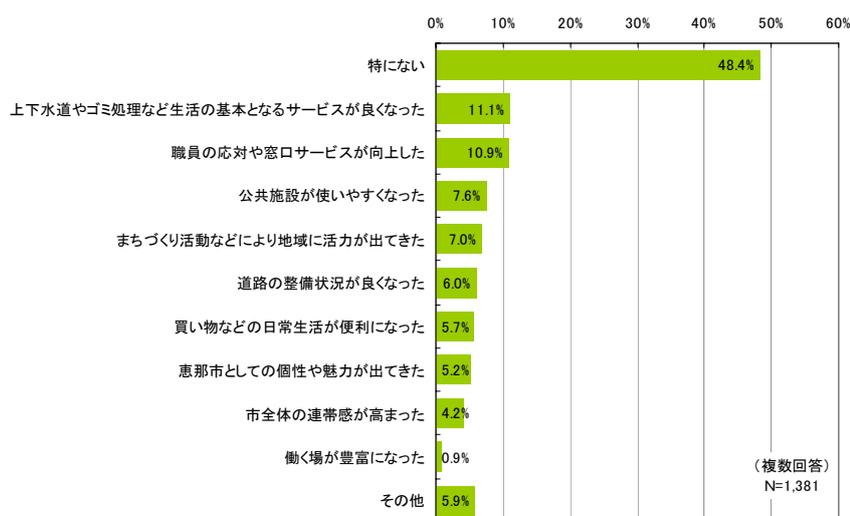


表 年齢別 良くなったところ（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	特にない	64.5%	公共施設 道路	7.2%		
30代	特にない	56.4%	公共施設	15.3%	個性や魅力	6.8%
40代	特にない	56.3%	公共施設	8.8%	職員の応対 市全体の連帯感	6.1%
50代	特にない	61.0%	職員の応対	10.1%	日常生活	8.1%
60代	特にない	52.3%	生活の基本となるサービス	14.0%	地域の活力	12.3%
70歳以上	生活の基本となるサービス	25.7%	特にない	25.3%	道路	23.7%

表 居住地別 良くなったところ（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	特にない	44.0%	職員の応対	15.1%	地域の活力	10.0%
長島町	特にない	42.8%	職員の応対	14.4%	道路	11.5%
東野	特にない	49.0%	生活の基本となるサービス	22.4%	職員の応対	10.2%
三郷町	特にない	33.8%	公共施設	17.6%	職員の応対	14.7%
武並町	特にない	44.4%	公共施設 個性や魅力	12.2%		
笠置町	特にない	49.1%	生活の基本となるサービス	13.2%	道路	11.3%
中野方町	特にない	50.8%	生活の基本となるサービス	22.2%	公共施設	11.1%
飯地町	特にない	50.0%	生活の基本となるサービス 地域の活力	11.4%		
岩村町	特にない	55.4%	生活の基本となるサービス	10.7%	公共施設	9.1%
山岡町	特にない	59.8%	職員の応対	9.1%	生活の基本となるサービス	7.6%
明智町	特にない	54.4%	生活の基本となるサービス	12.1%	職員の応対	8.1%
串原	特にない	49.1%	生活の基本となるサービス	22.8%	職員の応対	7.0%
上矢作町	特にない	51.2%	生活の基本となるサービス	22.0%	職員の応対	7.3%

3)悪くなったところ

◆設問 10「合併後の恵那市の悪くなったところは何ですか？」

合併後の恵那市で悪くなったところについて尋ねたところ、全体では「特にない」が28.9%で最も多く、次いで「地域の活力が低下してきた」が21.8%、「市全体の連帯感が薄れてきた」が14.8%となっています。その他の意見としては「公共料金の値上がり」、「小回りのきく行政でなくなった」などがあげられています。

図 悪くなったところ

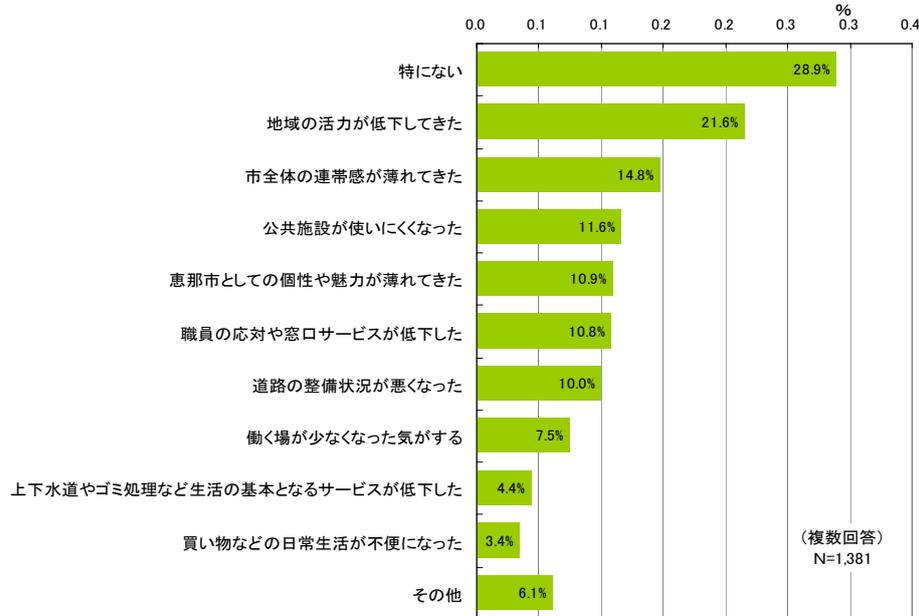


表 年齢別 悪くなったところ (上位3つ)

	1位		2位		3位	
	内容	割合 (%)	内容	割合 (%)	内容	割合 (%)
20代	特にない	38.8%	地域の活力	19.7%	公共施設	13.2%
30代	特にない	39.5%	地域の活力	16.8%	職員の応対	14.7%
40代	特にない	30.3%	地域の活力	24.6%	職員の応対	14.0%
50代	特にない	30.6%	地域の活力	22.1%	職員の応対/道路	13.6%
60代	地域の活力	25.7%	特にない	23.7%	市全体の連帯感	22.3%
70歳以上	地域の活力	18.5%	特にない	18.1%	働く場	16.9%

表 居住地別 悪くなったところ (上位3つ)

	1位		2位		3位	
	内容	割合 (%)	内容	割合 (%)	内容	割合 (%)
大井町	特にない	39.8%	市全体の連帯感	17.4%	個性や魅力	13.9%
長島町	特にない	45.2%	個性や魅力	14.4%	市全体の連帯感	10.6%
東野	特にない	44.9%	個性や魅力	14.3%	公共施設/働く場 /地域の活力 /市全体の連帯感	10.2%
三郷町	特にない	41.2%	個性や魅力	16.2%	公共施設 市全体の連帯感	11.8%
武並町	特にない	47.8%	市全体の連帯感	21.1%	職員の応対	12.2%
笠置町	特にない	41.5%	市全体の連帯感	13.2%	道路	9.4%
中野方町	特にない	38.1%	市全体の連帯感	27.0%	働く場/地域の活力	14.3%
飯地町	特にない	36.4%	道路	43.1%	地域の活力	20.5%
岩村町	地域の活力	38.0%	公共施設	31.4%	職員の応対	18.2%
山岡町	地域の活力	39.4%	公共施設	19.7%	市全体の連帯感	17.4%
明智町	地域の活力	40.9%	市全体の連帯感	15.4%	道路	14.8%
串原	地域の活力	36.8%	道路	31.6%	職員の応対	17.5%
上矢作町	地域の活力	43.9%	公共施設	22.0%	職員の応対	17.1%

4)より良い市にするために必要なこと

◆設問 11 「合併後の恵那市をより良い市にするためには何が必要と思いますか？」

合併後の恵那市をより良い市にするために必要なことについて尋ねたところ、「行財政改革による行財政基盤の確立」、「市全体の均衡ある発展を目指すため地域間の共生を図る」が17.7%で最も多く、次いで「市からの積極的な情報公開」が15.8%となっています。

その他の意見としては、福祉の充実、周辺と中心部の格差解消などがあげられています。

図 より良い市にするために必要なこと

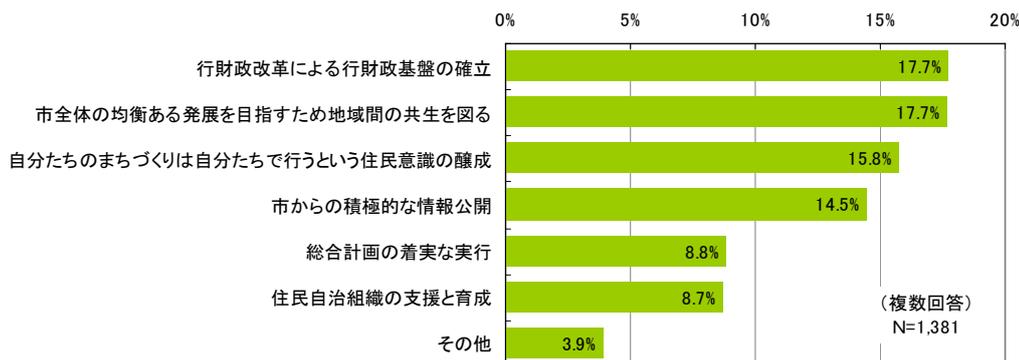


表 年齢別 合併後の恵那市をより良い市にするために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	地域間の共生	22.4%	住民意識の醸成	19.1%	情報公開	14.5%
30代	住民意識の醸成	17.9%	情報公開	16.3%	地域間の共生	
40代	行財政基盤の確立	23.7%	地域間の共生	19.7%	住民意識の醸成	15.4%
50代	行財政基盤の確立	23.6%	地域間の共生	15.5%	情報公開	15.1%
60代	地域間の共生	20.0%	住民意識の醸成	17.7%	行財政基盤の確立	16.0%
70歳以上	情報公開	16.9%	住民意識の醸成	13.7%	地域間の共生	

表 居住地別 合併後の恵那市をより良い市にするために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	行財政基盤の確立	24.7%	情報公開	19.7%	住民意識の醸成	17.8%
長島町	行財政基盤の確立	17.8%	情報公開	16.8%	地域間の共生	15.4%
東野	情報公開	20.4%	住民意識の醸成		総合計画の実行	14.3%
三郷町	行財政基盤の確立	23.5%	情報公開	16.2%	総合計画の実行	14.7%
武並町	住民意識の醸成	23.3%	行財政基盤の確立	22.2%	総合計画の実行	14.4%
笠置町	住民意識の醸成	20.8%	地域間の共生	17.0%	行財政基盤の確立	15.1%
中野方町	情報公開	17.5%	住民意識の醸成		地域間の共生	15.9%
飯地町	地域間の共生	20.5%	情報公開	15.9%	住民意識の醸成	
岩村町	地域間の共生	21.5%	住民意識の醸成	18.2%	行財政基盤の確立	15.7%
山岡町	地域間の共生	30.3%	行財政基盤の確立	15.9%	住民意識の醸成	15.2%
明智町	地域間の共生	28.2%	行財政基盤の確立	13.4%	住民自治組織	12.8%
串原	地域間の共生	31.6%	情報公開	12.3%	行財政基盤の確立	
上矢作町	地域間の共生	18.3%	住民意識の醸成	15.9%	住民自治組織	13.4%
					行財政基盤の確立	

④ 個別の計画について

1) 健康づくりについて

◆設問 13「健康づくりの充実を図るためには、どのようなことが必要だと思いますか？」

健康づくりの充実のために必要なことについて尋ねたところ、全体では「医療施設の充実や緊急診療、休日・夜間診療体制の充実」が52.1%で最も高く、次いで「運動習慣を身につけるため手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり」が30.6%となっています。

年齢別にみても、各年代で「医療施設の充実や緊急診療、休日・夜間診療体制の充実」が最も多くなっています。

図 健康づくりの充実のために必要なこと

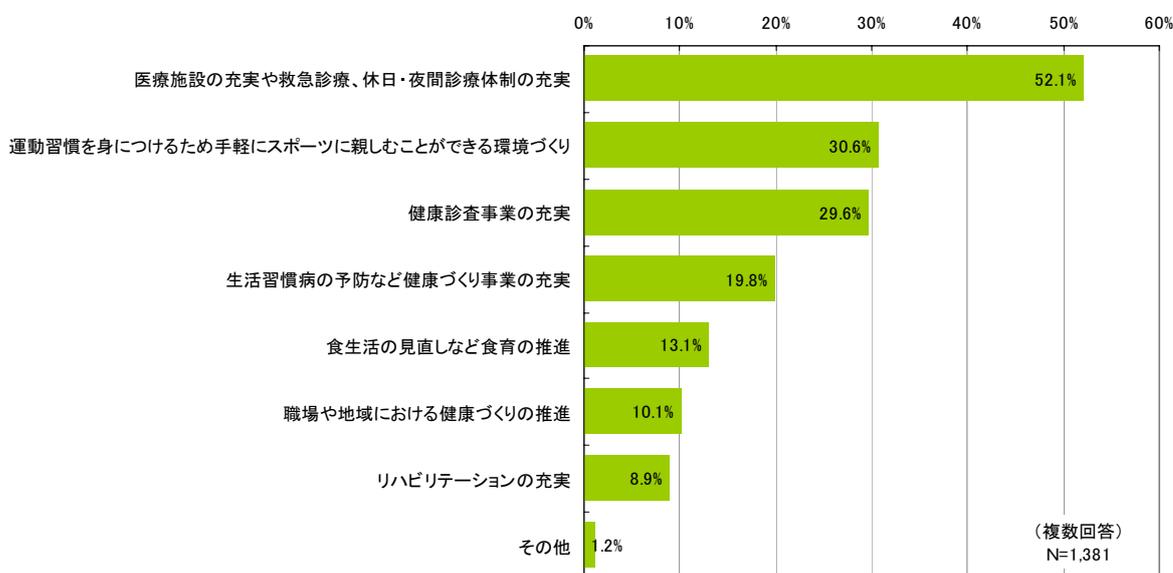


表 男女別 健康づくりの充実のために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
男性	医療施設、診療体制	52.5%	環境づくり	28.4%	健康診査	27.9%
女性	医療施設、診療体制	52.1%	環境づくり	32.2%	健康診査	30.9%

表 年齢別 健康づくりの充実のために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	医療施設、診療体制	49.3%	環境づくり	42.8%	健康診査	26.3%
30代	医療施設、診療体制	54.7%	環境づくり	38.9%	健康診査	30.0%
40代	医療施設、診療体制	55.3%	環境づくり	38.2%	健康診査	29.8%
50代	医療施設、診療体制	57.0%	健康診査	29.8%	環境づくり	27.1%
60代	医療施設、診療体制	49.0%	健康診査	28.0%	環境づくり	27.7%
70歳以上	医療施設、診療体制	48.2%	健康診査	32.9%	健康づくり事業	21.3%

2) 子育てについて

◆設問 14「安心して子どもを生き育てるためには何が必要だと思いますか？」

安心して子育てするために必要なことについて尋ねたところ、全体では「産科・小児科医療の充実」が63.9%で突出しており、次いで「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が35.7%となっています。

男女別、年齢別、地域別においても「産科・小児科医療の充実」が最も多くあげられています。

図 安心して子育てするために必要なこと

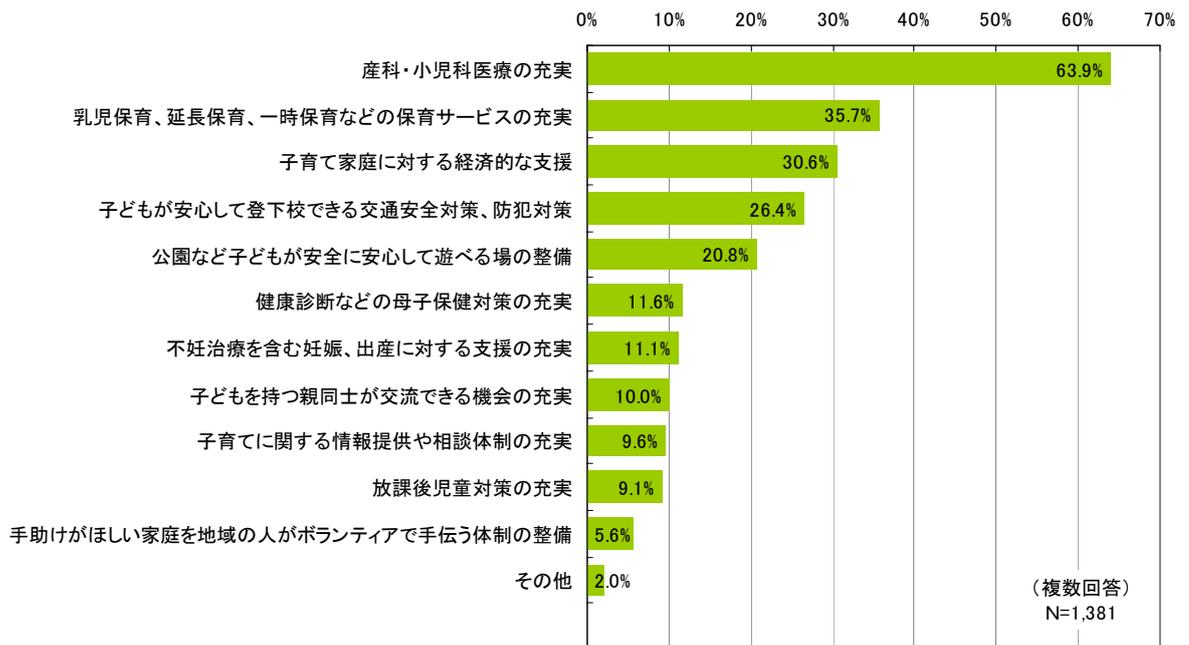


表 男女別 安心して子育てするために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
男性	産科・小児科医療	63.9%	保育サービス	35.7%	経済的な支援	30.6%
女性	産科・小児科医療	68.7%	交通安全、防犯対策	31.4%	保育サービス	28.4%

表 年齢別 安心して子育てするために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	産科・小児科医療	73.0%	保育サービス	37.5%	経済的な支援	35.5%
30代	産科・小児科医療	72.6%	経済的な支援	38.9%	保育サービス	32.1%
40代	産科・小児科医療	69.7%	交通安全、防犯対策	32.9%	経済的な支援	32.5%
50代	産科・小児科医療	78.3%	保育サービス	36.8%	交通安全、防犯対策	28.3%
60代	産科・小児科医療	61.3%	保育サービス	29.7%	交通安全、防犯対策	27.7%
70歳以上	産科・小児科医療	50.2%	交通安全、防犯対策	32.9%	保育サービス	24.5%

表 居住地別 安心して子育てするために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	産科・小児科医療	68.0%	交通安全、防犯対策	33.2%	保育サービス	32.0%
長島町	産科・小児科医療	70.7%	保育サービス	31.7%	安心して遊べる場	31.3%
東野	産科・小児科医療	46.9%	保育サービス	38.8%	交通安全、防犯対策	30.6%
三郷町	産科・小児科医療	77.9%	経済的な支援	29.4%	保育サービス	27.9%
武並町	産科・小児科医療	64.4%	経済的な支援	34.4%	保育サービス	28.9%
笠置町	産科・小児科医療	66.0%	交通安全、防犯対策	35.8%	経済的な支援	26.4%
中野方町	産科・小児科医療	61.9%	交通安全、防犯対策	34.9%	保育サービス 経済的な支援	30.2%
飯地町	産科・小児科医療	79.5%	保育サービス 交通安全、防犯対策	36.4%		
岩村町	産科・小児科医療	71.9%	保育サービス	38.0%	交通安全、防犯対策	25.6%
山岡町	産科・小児科医療	64.4%	経済的な支援	37.9%	保育サービス	32.6%
明智町	産科・小児科医療	60.4%	交通安全、防犯対策	33.6%	保育サービス	28.2%
串原	産科・小児科医療	59.6%	経済的な支援	29.8%	保育サービス	24.6%
上矢作町	産科・小児科医療	68.3%	保育サービス	34.1%	経済的な支援	30.5%

3) 生活環境について

◆設問 15「市の生活環境を快適なものにするためには何を行うことが必要だと思いますか？」

生活環境を快適なものにするために必要なことについて尋ねたところ、「安全安心な居住環境の整備と定住促進」が34.8%で最も高く、次いで「不法投棄の防止、ゴミ処理方法の適正化等ごみ問題の改善」が33.3%となっています。

年齢別、地域別にみても、これら2つが上位にあげられています。

図 生活環境を快適なものにするために必要なこと

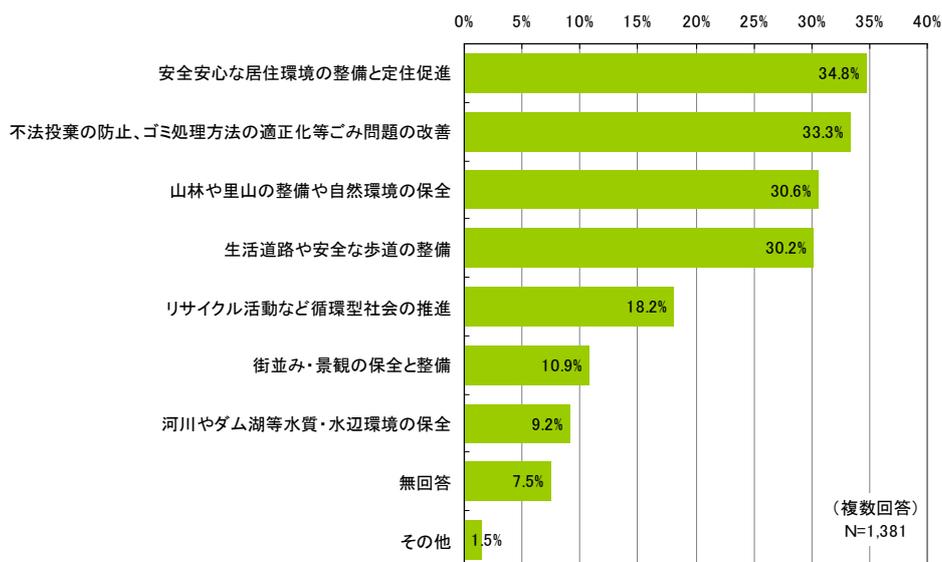


表 年齢別 生活環境を快適なものにするために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
	項目	割合	項目	割合	項目	割合
20代	居住環境整備	36.8%	自然環境の保全	30.9%	生活道路、歩道整備	26.3%
30代	居住環境整備	36.3%	ごみ問題の改善	33.7%	生活道路、歩道整備	32.1%
40代	ごみ問題の改善	39.5%	生活道路、歩道整備	39.0%	居住環境整備	36.4%
50代	居住環境整備	35.7%	ごみ問題の改善	31.8%	自然環境の保全	31.4%
60代	ごみ問題の改善	36.0%	自然環境の保全	35.7%	居住環境整備	32.7%
70歳以上	自然環境の保全	34.1%	居住環境整備	32.5%	ごみ問題の改善	31.7%

表 居住地別 生活環境を快適なものにするために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
	項目	割合	項目	割合	項目	割合
大井町	居住環境整備	36.3%	ごみ問題の改善	30.9%	生活道路、歩道整備	30.5%
長島町	ごみ問題の改善	36.5%	居住環境整備	32.2%	自然環境の保全	28.8%
東野	ごみ問題の改善	49.0%	生活道路、歩道整備	34.7%	居住環境整備	26.5%
三郷町	ごみ問題の改善	47.1%	自然環境の保全	33.8%	居住環境整備	33.8%
武並町	ごみ問題の改善	42.2%	自然環境の保全	33.3%	居住環境整備	32.2%
笠置町	自然環境の保全	39.6%	ごみ問題の改善	32.1%	生活道路、歩道整備	28.3%
中野方町	ごみ問題の改善	42.9%	居住環境整備	30.2%	自然環境の保全	25.4%
飯地町	自然環境の保全	50.0%	居住環境整備 生活道路、歩道整備	43.2%		
岩村町	居住環境整備	34.7%	ごみ問題の改善	33.9%	自然環境の保全	30.6%
山岡町	居住環境整備	40.9%	生活道路、歩道整備	39.4%	自然環境の保全	29.5%
明智町	生活道路、歩道整備	38.9%	居住環境整備	36.2%	ごみ問題の改善	29.5%
串原	居住環境整備 生活道路、歩道整備	43.9%			自然環境の保全	31.6%
上矢作町	自然環境の保全	50.0%	居住環境整備	34.1%	ごみ問題の改善	23.2%

4) 環境問題について

◆設問 16 「環境問題の中で、特に関心のあるものは何ですか？」

環境問題で関心のあることについて尋ねたところ、「農薬や食品添加物など食品の安全」が46.9%で最も多く、次いで「CO2 排出による地球温暖化など地球環境への影響」が38.4%となっています。

年齢別にみると、50 歳以上では「食品の安全」が、49 歳以下では「地球環境」が最も多くあげられています。

図 環境問題で関心のあること

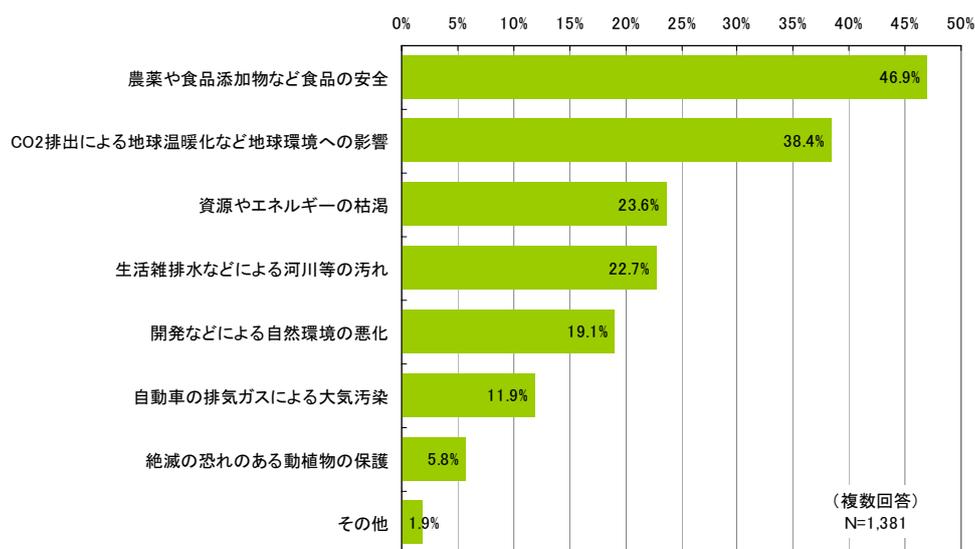


表 年齢別 環境問題で関心のあること（上位3つ）

	1位		2位		3位	
	問題	割合	問題	割合	問題	割合
20代	地球環境	52.6%	食品の安全	34.2%	河川等	23.7%
30代	地球環境	47.4%	食品の安全	45.8%	資源やエネルギー	27.9%
40代	地球環境	43.9%	食品の安全	41.2%	資源やエネルギー	30.3%
50代	食品の安全	51.2%	地球環境	36.0%	資源やエネルギー	26.4%
60代	食品の安全	52.3%	地球環境	33.7%	河川等	26.0%
70歳以上	食品の安全	50.6%	地球環境	26.1%	河川等	22.1%

表 居住地別 環境問題で関心のあること（上位3つ）

	1位		2位		3位	
	問題	割合	問題	割合	問題	割合
大井町	食品の安全	45.9%	地球環境	41.3%	資源やエネルギー	26.6%
長島町	食品の安全	50.0%	地球環境	39.9%	河川等	21.6%
東野	食品の安全	38.8%	地球環境	38.8%	河川等	30.6%
三郷町	食品の安全	42.6%	河川等	36.8%	地球環境	27.9%
武並町	地球環境	51.1%	食品の安全	50.0%	資源やエネルギー	24.4%
笠置町	食品の安全	58.5%	地球環境	43.4%	河川等	24.5%
中野方町	河川等	41.3%	食品の安全	38.1%	資源やエネルギー	23.8%
飯地町	資源やエネルギー	36.4%	食品の安全	34.1%	地球環境	34.1%
岩村町	食品の安全	49.6%	地球環境	38.0%	資源やエネルギー	27.3%
山岡町	食品の安全	43.9%	地球環境	37.9%	資源やエネルギー	29.5%
明智町	食品の安全	51.7%	地球環境	36.9%	自然環境 河川等	18.1%
串原	食品の安全	54.4%	地球環境	33.3%	資源やエネルギー	28.1%
上矢作町	食品の安全	42.7%	地球環境	40.2%	資源やエネルギー	23.2%

5) 防災について

◆設問 17 「地震や火災、大雨などの災害に対して、あなたが特に不安に思うことは何ですか？」

地震や火災、大雨などの災害に対して、特に不安に思うことを尋ねたところ、全体では「大地震により建物・家屋が倒壊すること」が61.7%で、突出して多くなっています。

居住地別には、串原では「地滑り・がけ崩れが起こること」が多く50%を超えています。

図 災害に対して不安に思うこと

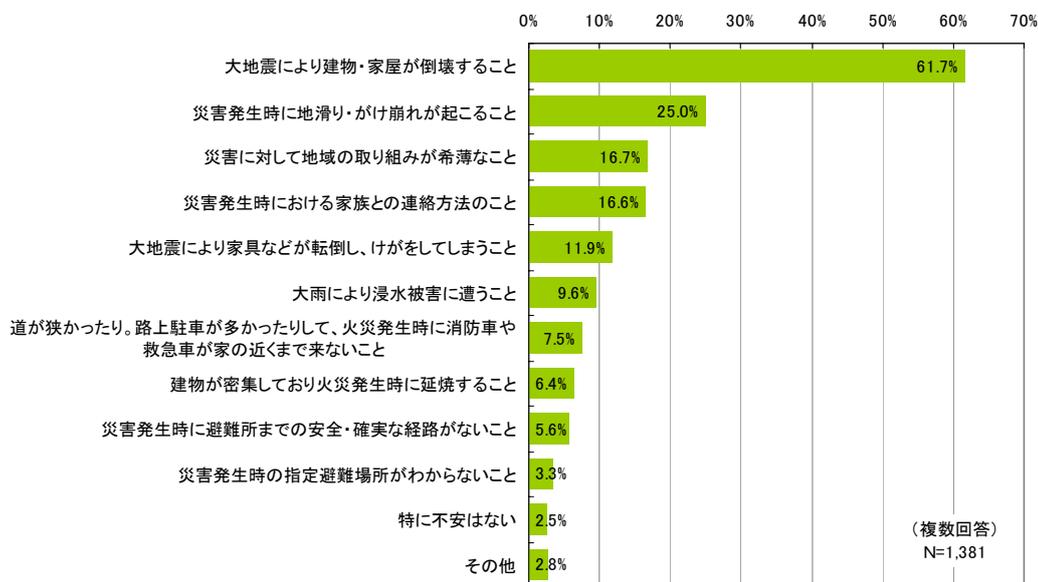


表 年齢別 災害に対して不安に思うこと（上位3つ）

年齢	1位		2位		3位	
	内容	割合	内容	割合	内容	割合
20代	建物・家屋の倒壊	60.5%	地滑り・がけ崩れ	28.9%	家族との連絡方法	26.3%
30代	建物・家屋の倒壊	68.4%	地滑り・がけ崩れ	28.4%	家族との連絡方法	21.1%
40代	建物・家屋の倒壊	60.5%	地滑り・がけ崩れ	28.9%	家族との連絡方法	25.4%
50代	建物・家屋の倒壊	66.7%	地滑り・がけ崩れ	27.1%	家族との連絡方法	16.7%
60代	建物・家屋の倒壊	56.3%	地滑り・がけ崩れ	23.0%	地域の取り組み	22.0%
70歳以上	建物・家屋の倒壊	60.2%	地域の取り組み	18.5%	地滑り・がけ崩れ	16.9%

表 居住地別 災害に対して不安に思うこと（上位3つ）

居住地	1位		2位		3位	
	内容	割合	内容	割合	内容	割合
大井町	建物・家屋の倒壊	63.7%	家族との連絡方法	19.7%	地域の取り組み	19.3%
長島町	建物・家屋の倒壊	60.1%	地滑り・がけ崩れ	17.8%	家族との連絡方法	15.4%
東野	建物・家屋の倒壊	65.3%	地域の取り組み	20.4%	緊急車両の通行	16.3%
三郷町	建物・家屋の倒壊	66.2%	地滑り・がけ崩れ	36.8%	地域の取り組み	20.6%
武並町	建物・家屋の倒壊	70.0%	地域の取り組み	22.2%	家具などの転倒	17.8%
笠置町	建物・家屋の倒壊	62.3%	地滑り・がけ崩れ	32.1%	家具などの転倒	17.0%
中野方町	建物・家屋の倒壊	49.2%	地滑り・がけ崩れ	31.7%	浸水被害	17.5%
飯地町	建物・家屋の倒壊	56.8%	地滑り・がけ崩れ	56.8%	地域の取り組み	15.9%
岩村町	建物・家屋の倒壊	61.2%	家族との連絡方法	21.5%	地域の取り組み	18.2%
山岡町	建物・家屋の倒壊	75.0%	地滑り・がけ崩れ	23.5%	家族との連絡方法	19.7%
明智町	建物・家屋の倒壊	53.0%	地滑り・がけ崩れ	35.6%	地域の取り組み	22.1%
串原	地滑り・がけ崩れ	56.1%	建物・家屋の倒壊	54.4%	浸水被害 避難経路	10.5%
上矢作町	建物・家屋の倒壊	61.0%	地滑り・がけ崩れ	32.9%	家族との連絡方法	15.9%

6) 公共交通について

◆設問 18 「あなたは今後、どのような公共交通サービスが充実されることを望みますか？」

今後、どのような公共交通サービスが充実することを望むか尋ねたところ、全体では「自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る」が41.5%で最も多く、次いで「JR・民間バスの利便性の向上を図る」が35.0%となっています。

年齢別にみると、30代以上では、「自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る」が最も多くあげられています。

居住地別にみると、飯地町では「乗合タクシー・有償ボランティア輸送などの交通手段を導入する」が最も多く、岩村町では「明知鉄道の利便性の向上及び利用促進を図る」が、大井町、長島町、明智町では「JR、民間バスの利便性の向上を図る」が最も多くなっており、地域によって充実を望む公共サービスは異なります。

図 公共交通サービスの充実について望むこと

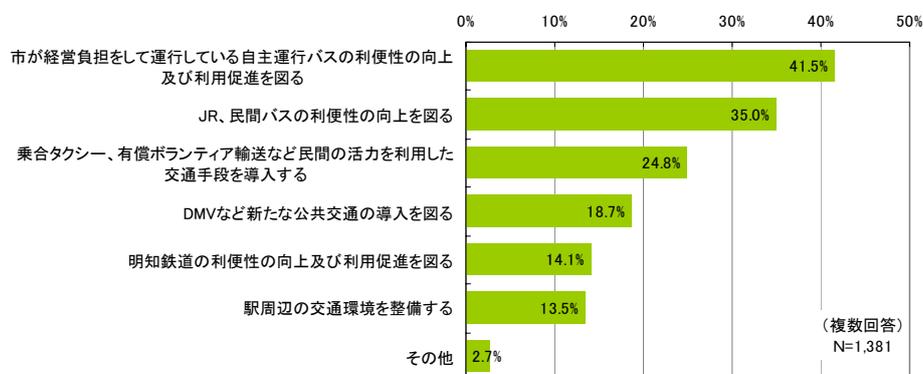


表 年齢別 公共交通サービスの充実について望むこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
	20代	JR、民間バス	46.7%	新たな公共交通	28.3%	自主運行バス
30代	自主運行バス	42.6%	JR、民間バス	41.6%	新たな公共交通	23.7%
40代	自主運行バス	39.0%	JR、民間バス	36.8%	乗合タクシー等	22.8%
50代	自主運行バス	43.0%	JR、民間バス	33.7%	乗合タクシー等	27.9%
60代	自主運行バス	46.0%	乗合タクシー等	29.7%	JR、民間バス	29.3%
70歳以上	自主運行バス	46.6%	JR、民間バス	29.3%	乗合タクシー等	27.7%

表 居住地別 公共交通サービスの充実について望むこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
	大井町	JR、民間バス	47.9%	自主運行バス	31.3%	乗合タクシー等
長島町	JR、民間バス	34.6%	自主運行バス	33.2%	乗合タクシー等	24.5%
東野	自主運行バス	36.7%	乗合タクシー等	30.6%	JR、民間バス	28.6%
三郷町	自主運行バス	44.1%	JR、民間バス	41.2%	乗合タクシー等	29.4%
武並町	自主運行バス	41.1%	JR、民間バス	34.4%	乗合タクシー等	31.1%
笠置町	自主運行バス	56.6%	JR、民間バス	45.3%	乗合タクシー等	26.4%
中野方町	自主運行バス	41.3%	JR、民間バス	36.5%	乗合タクシー等	25.4%
飯地町	乗合タクシー等	43.2%	JR、民間バス	36.4%	自主運行バス	36.4%
岩村町	明知鉄道	39.7%	自主運行バス	38.8%	JR、民間バス	29.8%
山岡町	自主運行バス	65.2%	明知鉄道	29.5%	新たな公共交通	22.7%
明智町	JR、民間バス	37.6%	自主運行バス	33.6%	明知鉄道	22.8%
串原	自主運行バス	57.9%	乗合タクシー等	28.1%	JR、民間バス	19.3%
上矢作町	自主運行バス	58.5%	乗合タクシー等	31.7%	JR、民間バス	24.4%

7) 産業振興について

◆設問 19「恵那市を「活力あるまち」にするために、どのような取り組みが重要だと思いますか？」

恵那市を「活力あるまち」にするために、どのような取り組みが重要かを尋ねたところ、全体では「地産地商（消）や観光との連携などによる農林業の活性化を進める」が最も多く 30.0%、次いで「自然環境や地域資源を活かした観光振興を進め、恵那市に訪れる交流人口を増やす」が 27.2%、「工業団地を整備し、企業などを誘致する」が 26.7%となっています。

年齢別にみると、50代、60代では「地産地商（消）や観光との連携などによる農林業の活性化を進める」が最も多くあげられています。また、20代、30代では「集客力の大きな大型店舗などを誘致する」が3番目に多くあげられています。

居住地別にみると、大井町、笠置町、岩村町、串原では「自然環境や地域資源を活かした観光振興を進め、恵那市に訪れる交流人口を増やす」が最も多く、東野、武並町、中野方町、飯地町、上矢作町では、「地産地商（消）や観光との連携などによる農林業の活性化を進める」、長島町、明智町では「商店街が活気づくようにまち並みの整備や空き店舗対策を行う」、三郷町では「新たな産業の育成や起業を支援し、意欲ある人が活躍できる環境を整える」、山岡町では「工業団地を整備し、企業などを誘致する」が最も多くなっています。

また、職業別にみても全体と同様、「地産地商（消）や観光との連携などによる農林業の活性化を進める」、「自然環境や地域資源を活かした観光振興を進め、恵那市に訪れる交流人口を増やす」などが上位となっています。

図 「活力あるまち」にするために重要な取り組み

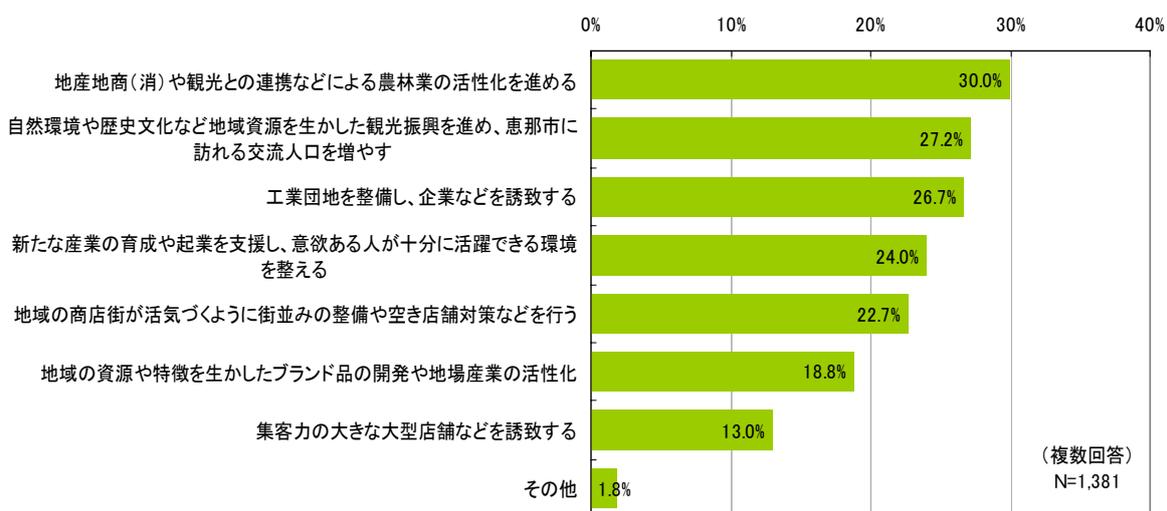


表 年齢別「活力あるまち」にするために重要な取り組み（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	観光振興	28.9%	農林業の活性化	28.3%	大型店舗	26.3%
30代	農林業の活性化	29.5%	観光振興	27.4%	大型店舗	26.8%
40代	企業誘致	32.9%	産業育成・起業支援	29.4%	農林業の活性化	27.2%
50代	農林業の活性化	34.9%	企業誘致	31.8%	産業育成・起業支援	24.4%
60代	農林業の活性化	36.3%	観光振興	28.0%	地場産業	23.3%
70歳以上	観光振興	32.1%	企業誘致	28.9%	産業育成・起業支援	23.7%

表 居住地別「活力あるまち」にするために重要な取り組み（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	観光振興	30.1%	企業誘致	30.1%	商店街	27.4%
長島町	商店街	31.3%	農林業の活性化	28.8%	産業育成・起業支援	26.0%
東野	農林業の活性化	40.8%	企業誘致	32.7%	観光振興	24.5%
三郷町	産業育成・起業支援	33.8%	観光振興	29.4%	企業誘致	29.4%
武並町	農林業の活性化	32.2%	産業育成・起業支援	30.0%	観光振興	28.9%
笠置町	観光振興	32.1%	企業誘致	26.4%	商店街	24.5%
中野方町	農林業の活性化	33.3%	産業育成・起業支援	28.6%	地場産業	23.8%
飯地町	農林業の活性化	34.1%	観光振興	31.8%	産業育成・起業支援	31.8%
岩村町	観光振興	32.2%	農林業の活性化	31.4%	商店街	28.1%
山岡町	企業誘致	39.4%	農林業の活性化	31.8%	産業育成・起業支援	28.8%
明智町	商店街	29.5%	農林業の活性化	28.2%	企業誘致	27.5%
串原	観光振興	36.8%	企業誘致	31.6%	産業育成・起業支援	26.3%
上矢作町	農林業の活性化	43.9%	地場産業	29.3%	産業育成・起業支援	29.3%

表 職業別「活力あるまち」にするために重要な取り組み（上位3つ）

	1位		2位		3位	
農業・林業	農林業の活性化	42.6%	観光振興	24.8%	産業育成・起業支援	24.8%
自営製造業	企業誘致	26.3%	産業育成・起業支援	26.3%	農林業の活性化 商店街	23.7%
自営商業・ サービス業	商店街	38.3%	農林業の活性化	28.4%	企業誘致	27.2%
会社員・団体職員	企業誘致	28.1%	産業育成・起業支援	27.0%	農林業の活性化	26.2%
公務員	農林業の活性化	47.7%	企業誘致	27.7%	地場産業 産業育成・起業支援	24.6%
パート・アルバイト	農林業の活性化	29.5%	観光振興	27.8%	企業誘致	25.7%
家事専業	観光振興	31.8%	農林業の活性化	29.9%	企業誘致 商店街	24.0%
無職	観光振興	30.7%	企業誘致	29.5%	農林業の活性化	27.9%
その他	農林業の活性化	31.7%	観光振興	28.3%	産業育成・起業支援	28.3%

8) 学校教育について

◆設問 20「現在の小中学校教育を充実するために、どのようなことに力を入れるべきと思いますか？」

現在の小中学校教育の充実のために力を入れるべきことについて尋ねたところ、全体では「子どもの道徳心やしつけの向上」が56.0%で突出して多くなっています。

年齢別にみても、いずれの年代も「子どもの道徳心やしつけの向上」が最も多くあげられており、特に年代が高くなるにつれ、道徳心等の向上の重要性を感じている人が多くなっています。

図 小中学校教育の充実のために力を入れるべきこと

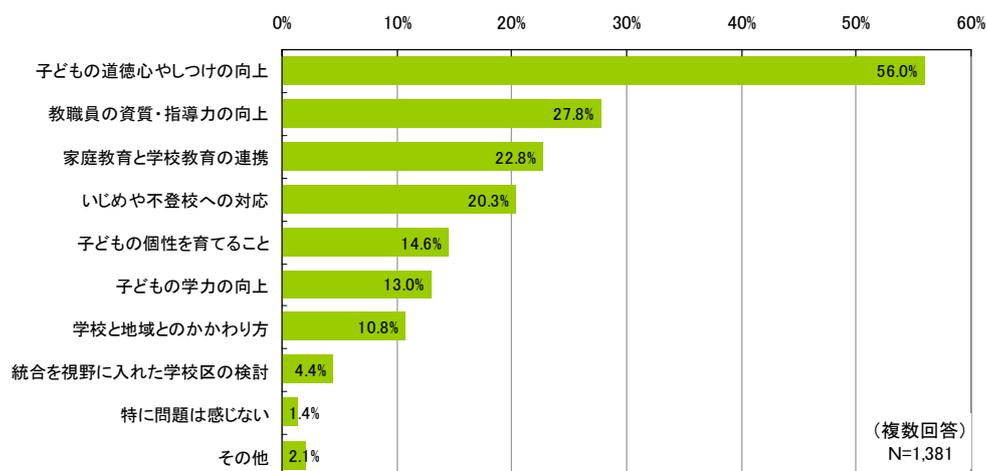


表 年齢別 小中学校教育の充実のために力を入れるべきこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	道徳心等の向上	49.3%	教職員の資質の向上	25.7%	いじめ等への対応	25.0%
30代	道徳心等の向上	50.5%	いじめ等への対応	28.4%	教職員の資質の向上	24.2%
40代	道徳心等の向上	56.1%	教職員の資質の向上	38.6%	いじめ等への対応	21.5%
50代	道徳心等の向上	56.6%	教職員の資質の向上	32.2%	いじめ等への対応	22.5%
60代	道徳心等の向上	58.7%	家庭教育との連携	29.0%	教職員の資質の向上	23.7%
70歳以上	道徳心等の向上	60.6%	家庭教育との連携	24.1%	教職員の資質の向上	22.5%

表 居住地別 小中学校教育に対して心配なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	道徳心等の向上	60.2%	教職員の資質の向上	31.3%	家庭教育との連携	22.8%
長島町	道徳心等の向上	56.7%	教職員の資質の向上	26.4%	いじめ等への対応	24.0%
東野	道徳心等の向上	69.4%	家庭教育との連携	28.6%	教職員の資質の向上	22.4%
三郷町	道徳心等の向上	55.9%	家庭教育との連携	29.4%	教職員の資質の向上	20.6%
武並町	道徳心等の向上	58.9%	教職員の資質の向上	33.3%	家庭教育との連携	23.3%
笠置町	道徳心等の向上	58.5%	教職員の資質の向上	24.5%	個性を育てる	18.9%
中野方町	道徳心等の向上	49.2%	個性を育てる	25.4%	教職員の資質の向上	25.4%
飯地町	道徳心等の向上	63.6%	教職員の資質の向上	27.3%	家庭教育との連携	22.7%
岩村町	道徳心等の向上	51.2%	教職員の資質の向上	29.8%	家庭教育との連携	24.8%
山岡町	道徳心等の向上	52.3%	教職員の資質の向上	28.8%	いじめ等への対応	27.3%
明智町	道徳心等の向上	54.4%	いじめ等への対応	26.8%	教職員の資質の向上	26.2%
串原	道徳心等の向上	52.6%	教職員の資質の向上	22.8%	学校区の検討	22.8%
上矢作町	道徳心等の向上	46.3%	教職員の資質の向上	29.3%	個性を育てる	24.4%

9) 生涯学習について

◆設問 21「生涯を通じた学習を充実させるために特に力を入れるべきことは何だと思いますか？」

生涯学習の充実のために力を入れるべきことについて尋ねたところ、「体験学習機会の充実」が最も多く 47.3%となっています。

年齢別に見ても、「体験学習の充実」が各年代とも最も多く、次に「生涯学習講座の充実」、「生涯学習体制の充実」が多くなっています。

図 生涯学習の充実のために力を入れるべきこと

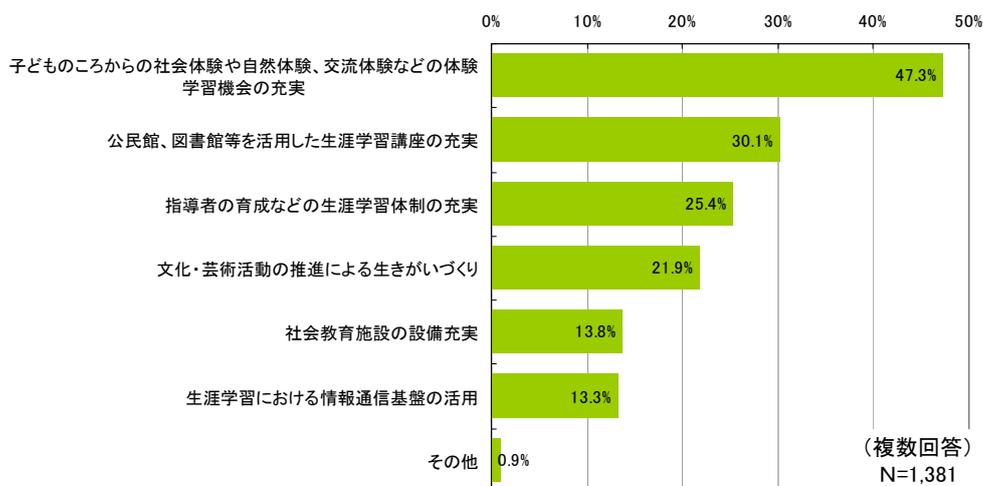


表 年齢別 生涯学習の充実のために力を入れるべきこと（上位3つ）

年齢	1位		2位		3位	
	項目	割合	項目	割合	項目	割合
20代	体験学習	59.2%	生涯学習講座	36.2%	生きがいくくり	21.1%
30代	体験学習	59.5%	生涯学習講座	36.3%	生涯学習体制	22.1%
40代	体験学習	43.4%	生涯学習講座	29.4%	生涯学習体制	25.9%
50代	体験学習	44.2%	生涯学習講座	30.2%	生涯学習体制	28.3%
60代	体験学習	43.7%	生涯学習講座	28.7%	生きがいくくり	23.7%
70歳以上	体験学習	41.8%	生涯学習体制	29.7%	生涯学習講座	24.1%

表 居住地別 生涯学習の充実のために力を入れるべきこと（上位3つ）

居住地	1位		2位		3位	
	項目	割合	項目	割合	項目	割合
大井町	体験学習	47.9%	生涯学習講座	39.8%	生きがいくくり	23.6%
長島町	体験学習	49.5%	生涯学習講座	36.1%	生きがいくくり	25.5%
東野	体験学習	44.9%	生涯学習講座	30.6%	生きがいくくり	20.4%
三郷町	体験学習	47.1%	生涯学習講座	23.5%	生きがいくくり	22.1%
武並町	体験学習	41.1%	生涯学習体制	34.4%	生涯学習講座	25.6%
笠置町	体験学習	39.6%	生きがいくくり	28.3%	生涯学習講座	28.3%
中野方町	体験学習	52.4%	生涯学習体制	33.3%	情報通信基盤	19.0%
飯地町	生涯学習体制	36.4%	体験学習	31.8%	生涯学習講座	27.3%
岩村町	体験学習	41.3%	生涯学習講座	38.0%	生涯学習体制	28.9%
山岡町	体験学習	53.8%	生涯学習体制	26.5%	情報通信基盤	19.7%
明智町	体験学習	51.0%	生涯学習講座	30.2%	生涯学習体制	25.5%
串原	体験学習	49.1%	生涯学習体制	28.1%	生きがいくくり	22.8%
上矢作町	体験学習	48.8%	生涯学習体制	26.8%	生きがいくくり	25.6%

④ 市民参加や市民協働について

1) 市民参加や市民協働について

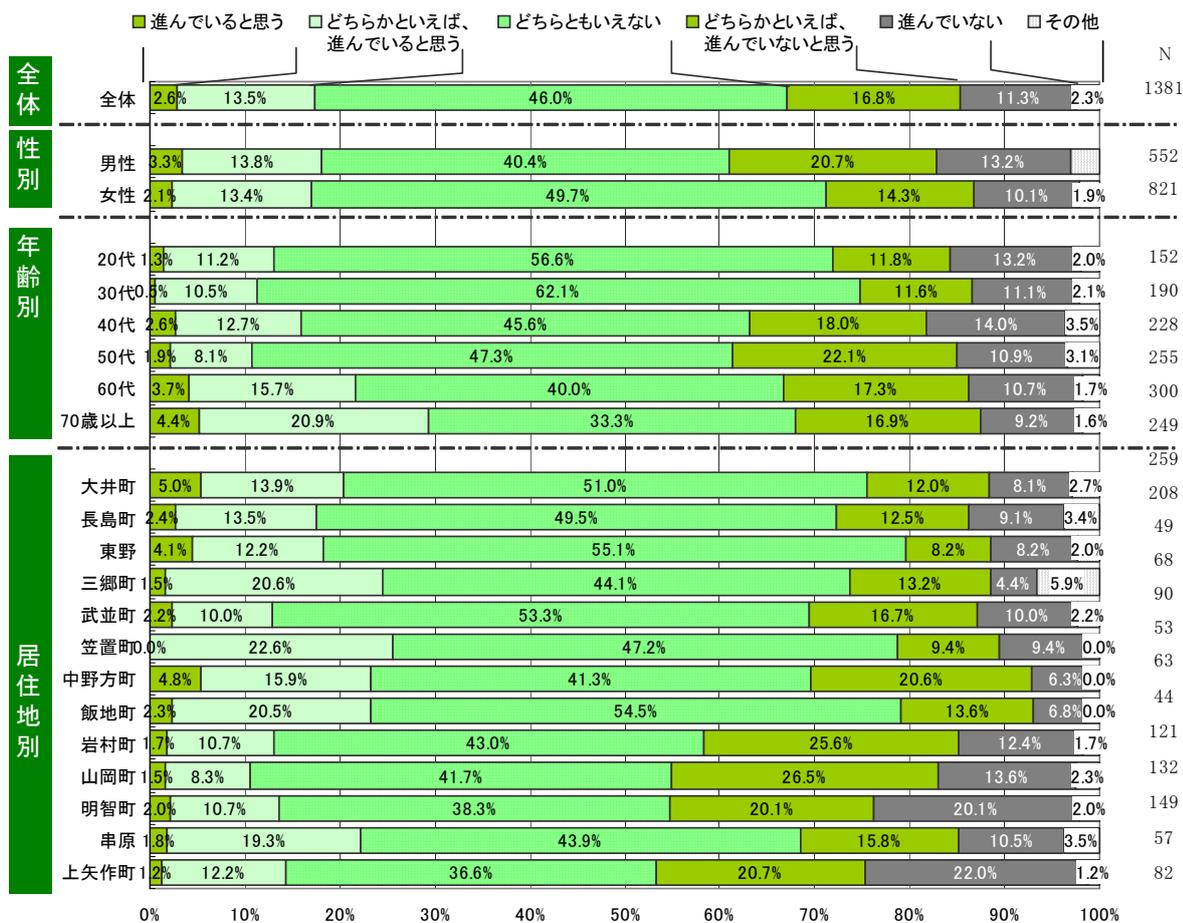
◆設問 22「合併後、各地域に地域自治区が設けられるなど、市民と行政の協働による地域づくりが進められつつあります。
この市民と行政の新しい関係づくりは進んでいると思いますか？」

市民参加や市民協働について尋ねたところ、全体では「進んでいると思う」、「どちらかといえば進んでいると思う」が合わせて 16.1%、「進んでいない」、「どちらかといえば進んでいないと思う」が合わせて 28.1%となっています。

年齢別にみると、50代では「進んでいない」、「どちらかといえば進んでいないと思う」が合わせて 33.0%となっています。

地域別にみると、岩村町、山岡町、明智町、上矢作町では「進んでいない」、「どちらかといえば進んでいないと思う」が多くなっています。

図 市民参加や市民協働について



2) 地域づくり活動への参加意向

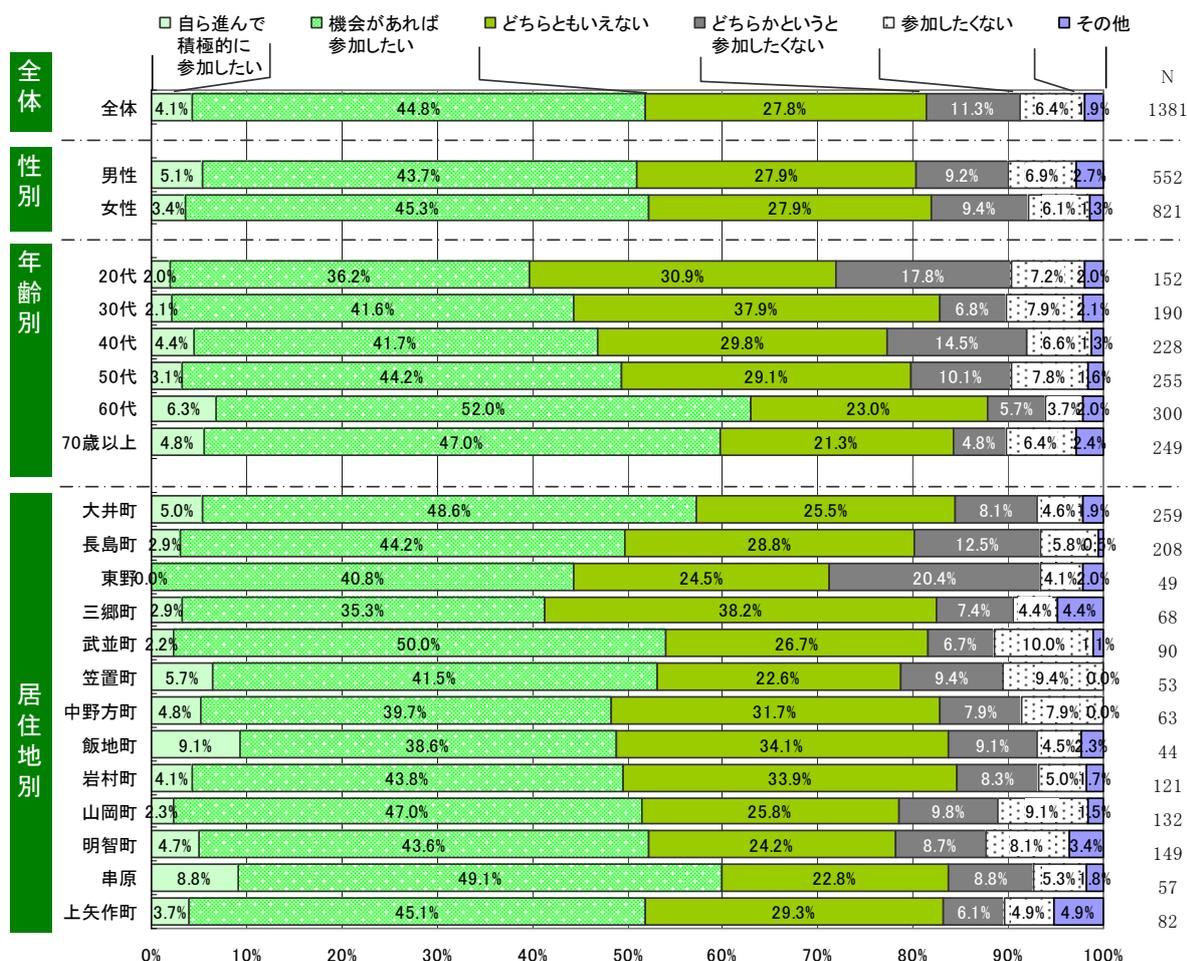
◆設問 23「あなたは地域で行っている各種地域づくり活動に参加したいと思いますか？」

地域づくり活動への参加意向を尋ねたところ、全体では「自ら進んで積極的に参加したい」、「機会があれば参加したい」が合わせて48.9%で約半数となっています。

年齢別にみると、年齢があがるにつれ参加意向が増えている傾向があります。

地域別にみると、大井町、武並町、笠置町、山岡町、明智町、串原、上矢作町では参加意向が50%を超えています。

図 地域づくり活動への参加意向



3) 市政情報の入手方法

◆設問 24 「市ではケーブルテレビや告知放送受信機の整備を進め、各種媒体を使って情報の発信を行っています。主にどのような方法で市政の情報を入手されていますか？」

市政情報の入手方法を尋ねたところ、全体では「市の発行する広報誌」が 74.8%で最も多く、次いで「自治会の回覧等」が 38.0%となっています。

年齢別、地域別に見ても「市の発行する広報誌」が最も多く、次いで「自治会の回覧等」、「告知放送」が多くなっています。

図 市政情報の入手方法

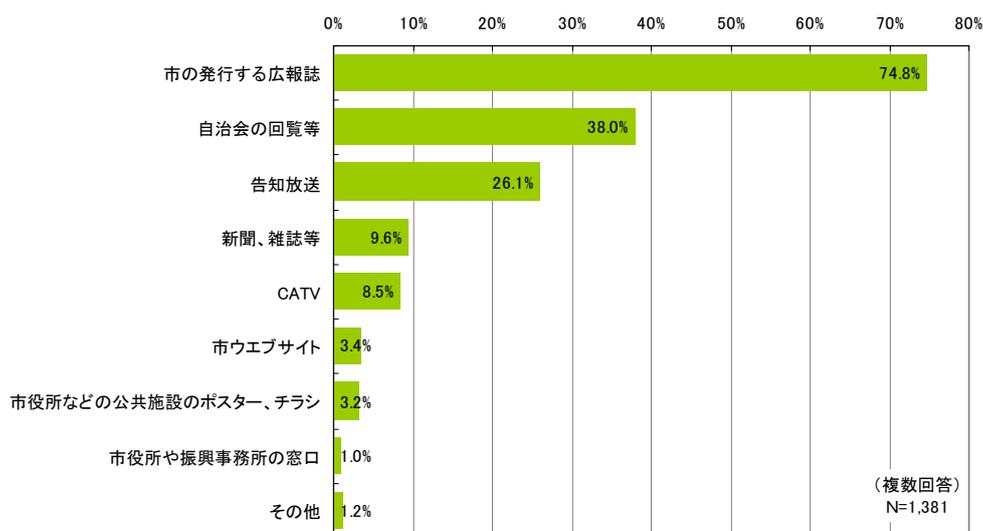


表 年齢別 市政情報の入手方法（上位3つ）

	1位		2位		3位	
	方法	割合	方法	割合	方法	割合
20代	広報誌	68.4%	告知放送	25.0%	回覧等	23.7%
30代	広報誌	83.2%	回覧等	26.8%	告知放送	21.1%
40代	広報誌	83.3%	回覧等	39.0%	告知放送	28.9%
50代	広報誌	71.7%	回覧等	42.2%	告知放送	30.6%
60代	広報誌	75.3%	回覧等	46.3%	告知放送	26.3%
70歳以上	広報誌	67.9%	回覧等	40.2%	告知放送	22.9%

表 居住地別 市政情報の入手方法（上位3つ）

	1位		2位		3位	
	方法	割合	方法	割合	方法	割合
大井町	広報誌	79.5%	回覧等	39.0%	告知放送	24.7%
長島町	広報誌	78.4%	回覧等	44.7%	告知放送	22.1%
東野	広報誌	69.4%	告知放送	38.8%	回覧等	32.7%
三郷町	広報誌	80.9%	回覧等	45.6%	告知放送	25.0%
武並町	広報誌	73.3%	回覧等	38.9%	告知放送	22.2%
笠置町	広報誌	73.6%	告知放送	37.7%	回覧等	26.4%
中野方町	広報誌	68.3%	回覧等	49.2%	告知放送	22.2%
飯地町	広報誌	84.1%	告知放送	56.8%	回覧等	25.0%
岩村町	広報誌	71.9%	回覧等	47.9%	告知放送	20.7%
山岡町	広報誌	75.8%	回覧等	30.3%	CATV	28.0%
明智町	広報誌	69.8%	回覧等	37.6%	告知放送	33.6%
串原	広報誌	73.7%	告知放送	36.8%	CATV	29.8%
上矢作町	広報誌	67.1%	回覧等	40.2%	告知放送	24.4%

4) 市民の意見を市政に反映するために必要なこと

◆設問 25「市民の意見を市政に反映するために、何が重要だと思いますか？」

市民の意見を市政に反映するために何が重要かを尋ねたところ、全体では「市長や議員が多くの市民と対話集会する機会を充実する」が最も多く 31.0%、次いで「会議の内容を市民が知ることができる機会を充実する」が 28.3%となっています。

年齢別にみると、40代以下では「アンケート調査、意見箱の設置など多数の意見を聞く機会を増やす」が最も多くあげられています。また、30代から60代では市長や議員が多くの市民と対話集会する機会を充実する、「会議の内容を知る」が多くなっています。

図 市民の意見を市政に反映するために必要なこと

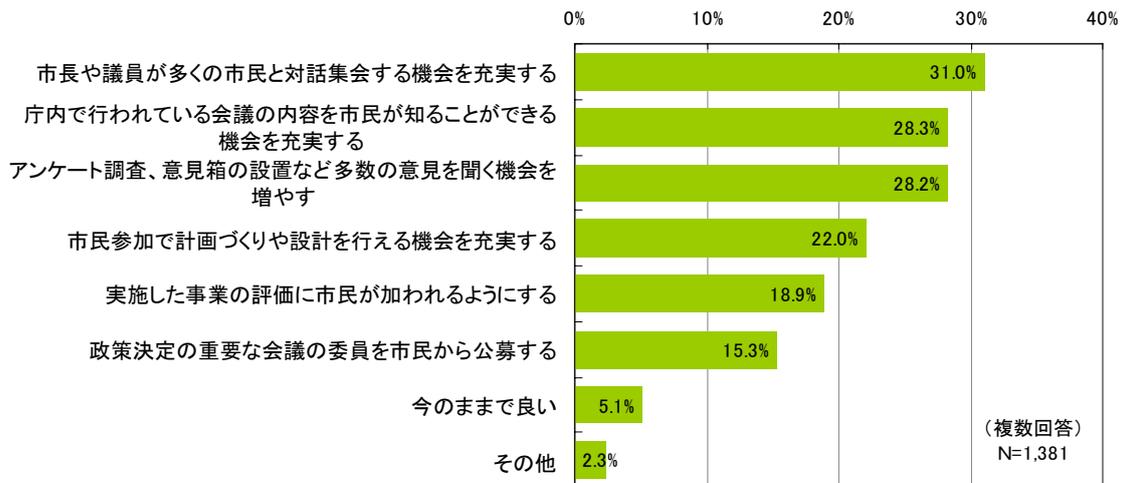


表 年齢別 市民の意見を市政に反映するために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	アンケート調査など	34.2%	会議の内容を知る	26.3%	市民参加で計画づくり	25.7%
30代	アンケート調査など	34.7%	対話集会の充実	32.6%	市民参加で計画づくり	22.1%
40代	アンケート調査など	32.9%	対話集会の充実	26.8%	会議の内容を知る	24.1%
50代	会議の内容を知る	38.0%	対話集会の充実	28.7%	アンケート調査など	25.2%
60代	対話集会の充実	36.0%	会議の内容を知る	27.0%	アンケート調査など	24.3%
70歳以上	対話集会の充実	36.1%	会議の内容を知る	31.7%	アンケート調査など	23.3%

表 居住地別 市民の意見を市政に反映するために必要なこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	アンケート調査など	30.9%	会議の内容を知る	25.9%	市民参加で計画づくり	25.5%
長島町	アンケート調査など	30.8%	会議の内容を知る	25.5%	対話集会の充実	25.0%
東野	会議の内容を知る	30.6%	事業評価への市民参加	28.6%	対話集会の充実	24.5%
三郷町	会議の内容を知る	35.3%	アンケート調査など	27.9%	対話集会の充実	23.5%
武並町	会議の内容を知る	28.9%	対話集会の充実	27.8%	市民参加で計画づくり	24.4%
笠置町	会議の内容を知る	34.0%	市民参加で計画づくり	32.1%	対話集会の充実	30.2%
中野方町	対話集会の充実	33.3%	会議の内容を知る	30.2%	市民参加で計画づくり	20.6%
飯地町	アンケート調査など	43.2%	対話集会の充実	31.8%	事業評価への市民参加	25.0%
岩村町	対話集会の充実	35.5%	会議の内容を知る	29.8%	アンケート調査など	29.8%
山岡町	対話集会の充実	37.1%	会議の内容を知る	31.1%	アンケート調査など	26.5%
明智町	対話集会の充実	36.2%	アンケート調査など	34.2%	会議の内容を知る	26.8%
串原	対話集会の充実	45.6%	会議の内容を知る	29.8%	事業評価への市民参加	19.3%
上矢作町	対話集会の充実	40.2%	会議の内容を知る	31.7%	アンケート調査など	26.8%

⑤ 行財政運営について

1) 効率的な行財政運営を行うために重点的に取り組むべきこと

◆設問 26「効率的な行財政運営を行うために、行財政改革に取り組んでいます。今後さらに進めなければならないことは何だと思いませんか？」

効率的な行財政運営を行うために何を重点的に取り組むべきかを尋ねたところ、全体では「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」が最も多く 35.8%であり、「行政組織を簡素・合理化する」が 21.6%、「行政職員の意識改革を行う」が 21.2%、「民間に出来ることは積極的に民間に任せる」が 20.6%、「予算の重点配分・重点投資」が 19.8%となっています。年齢別、居住地別にみても、「行政内部の経費の適正化・削減を徹底する」が多くあげられています。

図 効率的な行財政運営を行うために重点的に取り組むべきこと

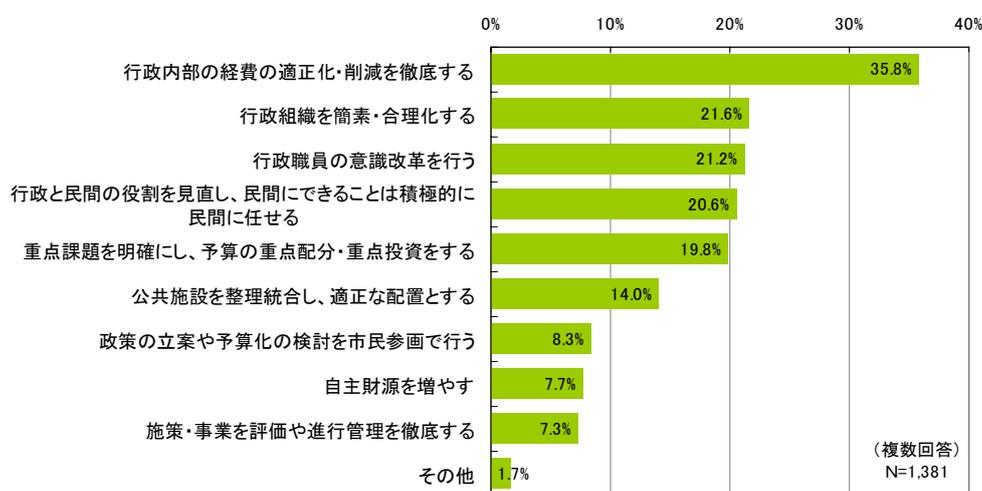


表 年齢別 効率的な行財政運営を行うために重点的に取り組むべきこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
20代	行政内部経費の適正化	32.2%	行政職員の意識改革	25.7%	予算の重点配分	23.0%
30代	行政内部経費の適正化	34.7%	行政職員の意識改革	21.6%	予算の重点配分	20.5%
40代	行政内部経費の適正化	44.7%	行政職員の意識改革	22.8%	予算の重点配分	21.9%
50代	行政内部経費の適正化	38.8%	行政組織の簡素・合理化	23.6%	行政職員の意識改革	23.6%
60代	行政内部経費の適正化	39.0%	行政組織の簡素・合理化	23.7%	民間に任せる	19.3%
70歳以上	行政組織の簡素・合理化	25.7%	民間に任せる	24.1%	行政内部経費の適正化	24.1%

表 居住地別 効率的な行財政運営を行うために重点的に取り組むべきこと（上位3つ）

	1位		2位		3位	
大井町	行政内部経費の適正化	37.5%	行政組織の簡素・合理化	24.3%	民間に任せる	22.8%
長島町	行政内部経費の適正化	40.4%	行政組織の簡素・合理化	25.5%	予算の重点配分	21.2%
東野	行政内部経費の適正化	38.8%	民間に任せる	30.6%	行政職員の意識改革	24.5%
三郷町	行政内部経費の適正化	39.7%	公共施設の適正配置	22.1%	行政組織の簡素・合理化	20.6%
武並町	行政内部経費の適正化	42.2%	民間に任せる	23.3%	行政組織の簡素・合理化	22.2%
笠置町	行政内部経費の適正化	34.0%	民間に任せる	30.2%	行政職員の意識改革	26.4%
中野方町	行政内部経費の適正化	38.1%	民間に任せる	22.2%	行政組織の簡素・合理化	20.6%
飯地町	行政職員の意識改革	34.1%	行政内部経費の適正化	31.8%	行政組織の簡素・合理化	25.0%
岩村町	行政内部経費の適正化	33.1%	行政職員の意識改革	26.4%	予算の重点配分	22.3%
山岡町	行政内部経費の適正化	33.3%	民間に任せる	22.0%	行政職員の意識改革	20.5%
明智町	行政内部経費の適正化	32.2%	予算の重点配分	19.5%	行政職員の意識改革	18.8%
串原	予算の重点配分	36.8%	行政組織の簡素・合理化	29.8%	行政職員の意識改革	19.3%
上矢作町	行政内部経費の適正化	37.8%	予算の重点配分	31.7%	行政職員の意識改革	24.4%

(5) その他意見・自由意見

① その他意見

各設問の「その他」として回答された意見は次のとおりです。()内の数字は、同じ意見の数を表しています。

Q8 合併後の恵那市は住みよいまちになったと思いますか？

- 転入してあまり経っていないので、よくわかりません。(4)
- 合併後に転入したのでわからない。(2)
- 地域格差を感じる。端地域のことを感じながらやってください。
- 合併＝住みよい町になるとは考えられない。特に周辺地域(恵南)への負担、不利益は大きいものがある。
- 合併前と比べると支払うものが増え、もらえるものが少ないと思う。
- 合併して何も良い事はない。郡部の住民は皆そう思っている。
- 高齢化、過疎が進んでいる。
- 何が合併によって変わったことなのか不明。
- 税金が高いように思う。前の3倍。
- 市が変えようとしていない。
- 受付窓口など地域の事がわからない人が多いため、遠い庁舎に行き、手続きできずに困る。

Q9 合併後の恵那市の良くなったところは何ですか？

- 乳幼児医療の年齢引き上げ。(15)
- 全くなし。(10)
- 転入してあまり経っていないので、よくわからない。(8)
- 変わったようにそんなに感じない。(3)
- 合併の意味がない。
- 子どもの給食費が少し安くなった。
- 浄化槽の補助金がアップ。
- 頼るところは行政ではなく、地域協力の意識が芽生えた。
- 旧恵那市と旧恵南との交流が以前より多くなってきたこと。
- 恵那文化センターの講座に参加できること。
- 恵那市内に住んでいる人は良いと思う。
- CATVの開設。
- TV、インターネットが良い。
- 庁舎の中に夫婦で勤め、夫婦管理職の立場にあり、どちらからか退職すべき。管理職でなくても、家族等勤める場合は退職すべき。
- 広報が見にくくなった。
- 恵那市の中心はよくなった。地方は不便を強いられている。
- 市職員の経費が減ったこと。
- 水道料金が下がった。
- よくわかりませんが、すべて。
- 各地域の情報が入手しやすくなった。

Q10 合併後の恵那市の悪くなったところは何ですか？

- 合併後に住み始めたのでわかりません。 (7)
- 公共料金が高くなった、なりつつある。 (5)
- むしろ全般に悪くなった。 (4)
- 近くでいろいろなサービスが受けられなくなった。 (3)
- 地域の特色のある行事が減ってきた。 (3)
- 医療が受けにくくなった。 (3)
- 市全体で行われる会議など集合場所が遠くなる事が多い。広くなりすぎてまとまりにくい。 (3)
- 広報の内容が広すぎて、自分達の地域にないこともあり残念です。 (2)
- 高齢者や弱者への福祉が低下した。 (2)
- 旧市町村の個性の薄れ。 (2)
- 不燃と可燃のゴミ袋を統一してほしい。ゴミ袋の値段が高い。 (2)
- 合併後数年たった今でもすべての物事が旧恵那市中心で行われている感じがすること。 (2)
- 産婦人科がなくなった。 (2)
- 市職員が多すぎる。 (2)
- 住民への細やかな配慮がなくなった。 (2)
- 図書館、美術館、維持費の問題。 (2)
- 山岡に1年住んだ人に10万円のお祝い金がなくなった。家を建てるのに8年間土地をかまっていけないと言われ、家を建てられるのが大分先になった。
- 冬の雪かきをやっていない所が多くなった。
- 旧恵那市中心の行政になりかねない。都市部は人が集るのは自然であり、周囲部を活性化すれば市全体もよくなり、まずは過疎化対策。
- 町民行事が減り地域との関わりが少なくなった。仕事が忙しく、こういう機会を減らされると地域の人たちと関わることもなくなってしまふ。
- 市民活動の状態が少なくなり、ボランティア等の人々の集いが見られなくなった(草刈、缶拾い等)。
- いろいろな助成金などが少なくなり何をしてもやりにくい。
- 明智町は合併後良くない事ばかり。
- 各地域でできた事ができなくなった。
- 子ども達への補助も減っている。
- 小回りのきく行政でなくなった。
- CATVの料金が高い。
- 良くなった事より広くてわからない事の方が多い。
- 町の中心部は活性化されたと思うが、地方はあまり活性化されていないように思う。
- 市から外へ出ないのでよくわからない。
- 市としての個性や魅力は増えているはずであるが、周知されていない。
- 大所帯になって、益々赤字財政になり、公共サービスの低下の恐れ、財政破綻などの恐れ、不安材料ばかり目に付きます。第二の夕張にならないようにしてください。
- 大阪府ではないが、職員はもっと働け。頭を使い汗をかけ。いやなら民間へ行け。代わりはあるぞ。
- 市町村にお金が回らなくなったのでは。
- 福祉などあまり職員の方が異動せずに長く相談に乗っていただけの方がよい。
- 市に貸している土地の代金の値下げがあった。
- 大きな公園がなくなった。
- あちこちで工事をしたり、余り必要でない所にお金をかけている気がする。
- 人口減少に歯止めがかからなくて寂しい気がする。
- 借金が増した。
- 税金が高くなった
- 車に乗れない人には不便なことばかりです。
- 範囲が広くなり要望が通りにくくなったのでは。
- 市役所の駐車場に止めるスペースがない。
- 運動会とかで「町長さんのお話」が手紙になった。

- 自主運行バスがとても高くなった。
- 恵那市街地の整備に比べ遠隔地（上矢作）が取り残された感があるように感じる。。
- 予算がないの一点張り、これでいいのか。

Q11 合併後の恵那市をより良い市にするためには何が必要と思いますか？

- 周辺と中心部の格差解消。 (2)
- 元に戻す。 (2)
- 引っ越してきて1年ほどで、あまりわかりません。
- 恵那市から再分割して瑞浪市への再合併。
- 各町村の特色を出す。
- オンブズマン、有能な市長。
- 市内の店の活性化。
- 市民は市の予算、決算をよく精査し、市議と職員を減らし、無駄をなくせ。
- 市の運営は民間企業とは違うという認識がなく、数字合わせによる市のサービス低下を招いているので、市としての財政の確立が必要と思います。
- 小さな行政。
- 地域エゴをなくす。
- 市債が減少するように努力すること。
- 安全な街。
- 国の方針に左右されないくらいの医療に恵まれた町になってほしい。他市との協力もOK。
- 財政基盤確立のため、早急に人員削減せよ。
- 建設業者のための箱物行政はやめろ。
- 子育て支援、弱者支援→介護、福祉。
- 自治会費をもっと安くすべき。愛知県の10倍以上、なんだかんだと言って徴収されます。
- 優良企業の誘致。
- 借地を減らし、賃貸料の節約。
- 市職員と市議会を削減すること。重点投資。
- 自分のことは自分で。
- 本当に必要な事を見極める職員。
- 行政の都合のいい設問だけにすな。
- 税金を下げる。その低い予算の中で何とかしてほしい。
- 自分の地域は自分達の手での意識が高すぎる。市がやるべきことをやらない。
- 市の幹部の考え方を変えること。
- 福祉の充実。
- 恵那市の良いところをもっとアピールし、温泉など利用者を増やし活性化させると、その収益で潤うと思う。
- 市民の声を聞くこと。
- 市職員をやる気にさせること。

Q12 恵那市以外で暮らしたい理由は何ですか？

- 税金が高いから。(5)
- 子育て支援・福祉が充実していないから。(2)
- 産婦人科がないため、今後は非常に不安です。緊急性大です。(2)
- 地元以外のイベントが多すぎるから。
- 自閉症の息子が卒業後または親なき後、身を預ける場がないため。
- JR、路線バスが不便。
- 行政の進め方。
- 市民の気持ちを中津の方がわかってくれる。
- せっかくの自然環境が十分に生かされていない。
- 市営住宅が少ないし簡単に入れない、家賃が高い。
- 地元ではないから。
- 水道代が高い。
- 空気が悪い。
- 信号だらけの道がいや。市民プールもない。
- 税金に対して無駄が多いから。。
- 市民病院すらない。
- 地区の負担金が高い。
- 家があるから住んでいるだけ。
- 自治会の役や行事が多すぎる。
- 大きな買い物、大きな病気、飯地ではダメ。

Q13 健康づくりの充実を図るためには、どのようなことが必要だと思いますか？

- 自ら行う教育、自己責任。(3)
- 興味なし。
- 体育館など施設使用料の減免。
- 病気にならないように予防と自分に合ったやり方でしっかりやる。
- 職場での分煙化の徹底。
- 「自分でできる健康診断方法・自分の健康状態の把握とその対策・対処方法」を身につけること。具体的には漢方の考え方の元になっている「陰陽五行説」を理解し、日々の暮らしに役立てること。
- ゆとりある時間の確保。
- 産婦人科があってほしい。
- 市民病院をもっと充実させる。
- 公園や安全な散歩ができる施設、コースの整備。
- 市民プールを建設してほしい。
- 高齢の人たちが外に出やすい方法を考えて、役割を与える、乗り合いタクシー等。昼間のバスの運行は無駄。
- 食の安全性(外国の食をなくす)。

Q14 安心して子どもを生み育てるためには何が必要だと思いますか？

- 病児保育・・・一人親で子どもが病気になっても働ける。
- 少人数学級。
- 保育園、小中学校の先生方、学習施設の充実。
- 育児休暇への職場の理解。
- 学童保育の充実(すべての小学校に)。
- 障がい児のいる家庭のサポート。
- 差別のない環境。
- 子育てをする親の時間的な余裕・ゆとり。「金稼ぎのために時間がとられてしまう」その現状を打破するための社会制度改革、意識改革が必要。

- 税を含む負担の減額。
- 病気の園児の保育の充実。
- 母が子育てに専念できる環境。
- ワーキングプアをなくすこと。
- 登下校にレーダーを持たせ、学校で生徒の安全を見守る。
- 3つは選べません。全て良くしなければいけないのでは。この質問自体重要度が低いと思います。
- 結婚仲介人制度、組織化。
- 子どもが小さい理由で仕事をダメにする。公務員でも2人目をつくる予定がこの先あるならダメと言われた。

Q15 市の生活環境を快適なものにするためには何を行うことが必要だと思いますか？

- 交通機関をもっと便利にしてほしい。 (3)
- 店の充実化。スーパーなどを増やす。 (2)
- 上下水道の完備。
- ごみ収集の徹底化。市職員が焼却しているのに出して文句を言われるのは納得いかない。
- 河川やダム湖の地震対策。
- 里山を壊して、町内が無茶苦茶に住宅地にされている。
- 住民の地域に対する意識の向上。
- 「自然環境の保全がどう自分達の生活環境にかかわってくるのか」という教育・啓蒙活動も必要
市民一人一人のモラルアップ。
- 道が狭すぎる。狭い市道はせめて50mおきに車がすれちがうことができる広い場所がほしい。
- 廃屋をなくす。
- 都会化。
- 全て。
- 人口増加策の具現化。
- まちにもっと緑がほしい、暑い。

Q16 環境問題の中で、特に関心のあるものは何ですか？

- ゴミ、リサイクル、リユース、リデュース。 (2)
- 山林、林野の破壊防止。
- 山林や里山の整備をして、動物の食料の確保。
- 各家庭にある焼却炉の撤去。
- 互いに地域の美化に努力し合う事。
- 大久手に環境の悪い工場があり不安。
- 核廃棄物を山に埋める。
- 炭焼き、家の薪ストーブの煙、たばこ。。
- 近所で下水道工事をなかなかやらないところが多くある。
- オール電化の人体への影響。
- 全てが人間の生活に係わっているものなので絞れません。
- 地域の自然を活かした暮らし方。
- 市中心部に公害を出す工場はいかがなものか。
- 山、林、田畑にゴミが多くある。市に何とかしてほしい。
- タバコ廃止。
- 工場からの煙、夜になると臭い。
- 産廃対策の充実。
- 市道や県道や国道の近くに木を植えないこと。冬、凍結や雪がとけないなどの弊害があります。
- 公共交通の活用。
- 家庭のゴミ焼き。

Q17 地震や火災、大雨などの災害に対して、あなたが特に不安に思うことは何ですか？

- 地震により阿木川ダムが壊れること。(5)
- すべてに対して不安です。(2)
- 集落の孤立化。(2)
- 災害後、障がいのある息子と共に過ごす(避難する)場の確保、安全性。(2)
- 食糧の確保、医療機関。(2)
- 失業の恐れがある。(2)
- 公共の建物の倒壊。
- 天災は来てみないとわからない。
- 備蓄品の対応、ライフラインの早期復旧。
- 避難場所自体の耐震性が悪い。
- 山崩れによる道の寸断、孤立すること。
- 近所に家がないから心配。
- 電気、水道などのライフラインの停止。
- 今の便利な生活に頼りきっているため、災害時のサバイバルテクニックが欠如していること。火を起こせるか、煮炊きできるか、飲み水を確保できるか、個人宅における食料の備蓄、保存・加工技術等。
- 人災。
- 市が災害時の支援物資を確保しているか。
- 火災発生時に防火用水がない。
- 災害前に災害に対する取り組みをしてほしい。起こってからでは遅い。
- 災害時に対応できる救急病院が少ないこと。
- 災害後の生活。
- 消火器整備のための補助金を検討してください。
- ライフラインの確保がどこまでできるか。
- 市が行うこと、地域が行うこと、自身が行うことがはっきりと区別して認識されていない。
- 家族に年寄り(寝たきり)がいて、災害発生時にどう対応したらよいか。
- 災害発生時に行政の対応が遅いこと(職員の方にも家族があるから無理は言いませんが)。
- 今年、日本にもネッタイシマカが上陸してデング熱が大流行するとのこと。中電に対して蚊の電気誘致器を安価にて開発を急ぐよう、はっぱをかけてほしい。(新聞記事添付)
- 火災は間に合わないのではないか。
- 小学校の耐震が心配です。
- 元どおりの生活には戻れないだろうということ。身体的、金銭的に不安。

Q18 あなたは今後、どのような公共交通サービスが充実されることを望みますか？

- 駅周辺に安く利用できる広い駐車場がほしい。(6)
- 高齢者には公共交通の一層の充実。(3)
- バスを小型にして回数を増やしてほしい。(2)
- 駅前送迎用駐車場を広くしてほしい。今のロータリーは使いにくい。(2)
- 明知の鉄道をバスに替え柔軟性をよくする。(2)
- 他市にあるようなぐるりんバスがあるとよい。
- 利用料100円のバス(15km程度まで)。
- 現在より下がるサービスはどうかと思うが、なければないように対応する。
- 恵那駅裏側の開発(広場、連絡通路など)。
- それぞれの乗り場まで遠い。
- 駅周辺以外の交通環境。
- 税金は使用しない。赤字路線は廃止すること。
- 国道19号線片側2車線化。
- バスの利用・・・年間料金、世帯パス等。
- 早朝・夜のJRの本数が少ない。
- 具現化。

- 明知鉄道は料金が高いため高校生が困る。

Q19 恵那市を「活力あるまち」にするために、どのような取り組みが重要だと思いますか？

- スポーツ市民大会で若者の結束を図る。
- 地元の野菜や米等を商店と提携しても高ければ同じだと思う。
- 旧恵那市だけでなく今の恵那市全体で工業団地の整備・誘致を行い、そのために必要な道路整備を行うこと。
- 交流人口を増やすための道路整備。
- 住んでいる人のための（人が良いと）訪れるだけではダメです。
- 他の都市がやっている程度のことではなく、もっと突出した個性のある町に。例えば、シンガポールのような町（ゴミがない）とかぼかしを使った発電事業等、複数の事を組み合わせて町をつくっていく。
- 限界集落に歯止めを。
- 少子化対策。
- 恵那市の財産は、「温かい誠実な心の持ち主が多いこと」なので、人を育てることが大切と感じる。
- 市民の無借金化、借金をしての活力はおかしい。
- 市内小売店を利用するようにしたい。
- 活力ある町にする必要はない。
- 自然に恵まれた住みよい住宅地づくり。
- 具体例がないと理解できない。
- 駅前商店街の寂れようには甚だしいものがある。目的を変えた開発が望まれる。
- 四国のように、食物に乗せる葉などを取って、活力の町、年齢を問わず体を使い、医療費の削減。
- 失敗を恐れず、例えばグリーンピア跡地に薬大と提携し薬草をつくるとか。
- お年寄りの生活を楽にしてあげてほしい。仕事がない人がいないまちにして。
- 山岡ラ・フランスの名産をつくる（特産）。

Q20 現在の小中学校教育を充実するために、どのようなことに力を入れるべきとおもいますか？

- 親の教育。 (4)
- 教職員の事務的負担を軽くし、のびのびとした型にはまらない教育ができるように、教師の個性を生かしてほしい。 (2)
- 少人数学級。 (2)
- 現在のままでよい。
- 学校に関しては全くわからない。
- 少子化対策。
- 管理を緩める。
- 子どもがいません。
- 衣・食・住・医の知識を学び、実習すること。子どもが自由に行動できるようにすること。制約を加えない。子どもが自由に行動したいのであれば、その機会をつくり与えること。
- 親と子と教師の道徳心の向上。
- 親が教職員に対する気持ちを考え直す必要がある。教職員の人はもっと教師として自信を持っていいと思う。私達親はもっと教師を信用するべきだと思う。親が教師を馬鹿にするから子どもも馬鹿にすると
思う。
- 学校のことは学校に任す、教育委員会は不要。
- 中学校の卒業式の連絡もよこさない担任教師と校長の排除。
- モンスターペアレントをなくし、家庭での最低限しつけを親にさせる。
- 明るい男の教員を増やすこと。
- 土曜日の授業再開。
- 特別支援教育。
- 家庭内では子どもに対して経済的なゆとりを持たせること。家にはお金がないから上の学校へ出せない
ではダメだ。
- 子どもの主体性を重視すること。親があまり表に出ない。ある程度教師に任せる。
- 八百津町潮南との合併。ここにあって複式学級解消。

Q21 生涯を通じた学習を充実させるために特に力を入れるべきことは何だとおもいますか？」

- 地域での学習の機会を持てるようにする（地域内で参加できるように）。 (2)
- 生涯学習って何ですか。
- 市内外部から講師を招く。
- 行政でする必要はない。
- 旅に出ること、旅する者を受け入れること。
- 「地域の自然を活かした暮らし」を体験・実習できる場をつくること。
- 生涯学習は必要ない。
- 学生には教科書ワークブックを強制的に買わせるなり、提供するなどして、例題がマスターできるよう
トレーニングしたらよいと思う。
- 市民講座として夜間学べる環境をつくってもらいたい（英会話、パソコン、生花等）。
- サークル等、もっと充実してほしい。ヨガ、フラダンス、パソコン教室、書道（アクトスと提携して体
験でも良いのでアクアビクス等）など夜間も増やしてほしい。7:00頃～
- 道徳・終身教育。

**Q22 合併後、各地域に地域自治区が設けられるなど、市民と行政の協働による地域づくりが進められつつあり
ます。**

この市民と行政の新しい関係づくりは進んでいると思いますか？

- 一部の人（区長さんなどの役員）に負担がかかりすぎ。 (2)
- ますます引いている気がする。
- 高齢の人でも上からの発案で何かするとか考えるだけでなく、暇もあることで自分の生き方などにつ
いては、新聞、テレビ、何でも考える機会があるので、自分で努力することが何よりと思う。
- あまり意味のない組織が多い。
- 市民協働の名のもとに、市職員の点数稼ぎに自治会を利用しているとしか思えない。

- そんな動きがあることなど知らなかった。感じられなかった。
- 無理に行くことは作らない、行わない。
- 地域自治区とは何か理解できない。市政の丸投げか。
- 何がどのように進んでいるのかが若い世代の人にはさっぱりわからない、わかりにくい。
- 行政指導型から民主型へ。
- 恵那市では収入が得られず、外へ出ているためわからない。
- 行政はあまり市民を頼りにしないでほしい。市はもっと頑張ってください。
- 井の中の蛙で外部のことはよく知らない。
- 行政のやるべき事を市民に押し付けている。
- 関心ない。

Q23 あなたは地域で行っている各種地域づくり活動に参加したいと思いますか？

- 高齢と健康に自信がないため無理。(4)
- 参加しています。(4)
- 魅力的なものがない。(2)
- 現状の組織での参加はしたくない。
- 参加する機会が少ない。
- 若い人が参加できるようなものがない。
- 参加したいが今は子供が小さい。
- 細かく分けすぎでないでしょうか。あれもこれもできません。
- なぜ必要なかわかれば参加したい。
- 声かけがあれば参加すると思うが、地域でも話題にならない。
- 会合が市職のため平日の行われた欠席裁判で、活動は休日は難しい。
- 仕事から家から出ることはできないので参加できない。
- 地域づくり活動の名のもとに、市職員のつまらぬ企画を押し付けられている社会は自由で活発な社会と程遠いと思います。

Q24 市ではケーブルテレビや告知放送受信機の整備を進め、各種媒体を使って情報の発信を行っています。主にどのような方法で市政の情報を入手されていますか？

- 友人や近所に聞く。(3)
- 税金の無駄。
- 広報誌は月1回でもいい。
- 肌で感じる。

Q25 市民の意見を市政に反映するために、何が必要だと思いますか？

- 意見が反映された例があるのか知りたい。(2)
- もっと若年層にも意見を求めるべきだと思う。(2)
- 市長・議員・職員の意識改革。(2)
- 議会へ直接市民の意見が提出できるシステム。(2)
- 意見を聞く耳がないのに仕方がない。(2)
- 利己主義の議員は辞職を。
- 市民がもっと意見が出せるようにオープンにしてほしい。何を計画しているのかわかりにくい。経費(収支等)オープンに。
- 市長、市会議員、市職員の自らにとって痛いことでも実行すること。
- 広報誌、告知放送等で広く周知する。
- 役員、代表者等からの意見では一般市民の願いを聞いたことにはならない。

- 無駄な箱物行政はやめて、財政再建を。
- インターネットなどから意見を交換できるとよい。
- 市職員が小さな声にも真剣に対応しようという姿勢を持つこと。理由にならない言い訳で済まされることが多いです。市役所の方の自己防衛ばかりで改善に至りません。
- 地域住民と何かやってみる（田植えとか）。
- 政策決定の会議委員の公募は役所退職者のOBばかり。
- 市民の意見をとりまとめること・・・いかにして衆知を集めるか。参照：「続・発想法」川喜田二郎著（コピー添付あり）。
- オンブズマン。
- 市民の意見を市職員が聞き流さず、たとえ自らが不利益でも市民のために身を切ってくれること。
- アンケートでも会議でもその場だけです。アンケート調査を表に出してください。
- 市長や議員が希望、意見のある人と対話する機会。
- 対話集会などの前に、議員が勉強することだと思います。
- 長い間国立病院にもたれていたもので、医療の事がわかっていないと聞いておりましたが、その通り。

Q26 効率的な行財政運営を行うために、行政改革に取り組んでいます。今後さらに進めなければならないことは何だと思いますか？」

- 職員の数を必要数に減らす。 (5)
- 市会議員数を減らす。 (3)
- 有効な投資を行う。グリーンピアのように無駄な投資をしない。
- 市街地ばかりではなく、山村にも目を向けてくださいな。
- 6の事を具体的に改革をするか説明不足だ。
- 地域の事をよく知っている職員を各地域へ配置する。
- 市病院の充実。
- 効率的な行財政運営、効率が優先されると片付け仕事のような印象を受けてしまいます。
- 将来市の財源が少なくなっても市の運営ができるように、今のうちから市民を育て、民間を活用する。
- 市の借金の減額。
- 歳出額の削減等。
- 市の財政を圧迫する箱物をつくらない。
- 過去から引き続いている無駄を明らかにし、廃止したり消滅したり、支出を減らす。
- 自治会が行政の出先機関になっている忙しすぎる。
- 大阪府の意見を実行してほしい。

② 自由意見

アンケートでは、恵那市のまちづくりや市政全般について市民の皆さんの自由な意見を書いていただきました。全体の39.0%にあたる539人から意見をいただきました。

分野別の意見数は以下のとおりです。

分野	分類	意見数
0まちづくり全般	0-0 まちづくり全般に関する意見	60
1健康・福祉	1-1 子育てに関する意見	52
	1-2 健康づくりに関する意見	7
	1-3 地域福祉に関する意見	24
	1-4 高齢者福祉に関する意見	31
	1-5 障害者福祉に関する意見	4
	1-6 地域の医療・救急体制に関する意見	38
2生活環境	2-1 自然環境の保全と活用に関する意見	8
	2-2 快適な都市環境づくり、まち並み景観整備に関する意見	42
	2-3 安心・安全なまちづくりに関する意見	20
	2-4 環境衛生対策に関する意見	29
	2-5 憩いの場に関する意見	19
3都市・交流基盤	3-1 土地利用に関する意見	4
	3-2 道路に関する意見	42
	3-3 公共交通に関する意見	31
	3-4 通信(広報、CATV)に関する意見	24
	3-5 地域間交流に関する意見	5
4産業振興	4-1 商業・サービス業に関する意見	12
	4-2 工業に関する意見	5
	4-3 農林水産業に関する意見	13
	4-4 就労環境に関する意見	19
	4-5 観光に関する意見	30
5教育・文化	5-1 学校教育に関する意見	16
	5-2 生涯学習環境に関する意見	16
	5-3 青少年健全育成、子ども会活動等に関する意見	1
	5-4 文化・芸術活動に関する意見	3
	5-5 文化財の保護に関する意見	1
	5-6 スポーツ活動に関する意見	7
6住民参加等	6-1 市民参加のまちづくりに関する意見	32
	6-2 地域コミュニティ活動に関する意見	11
	6-3 行財政基盤、行政に関する意見	88
	6-4 合併、地域格差等に関する意見	77
	6-5 その他	80
	計	858

恵那市総合計画策定に向けた
平成20年度 市民意識調査結果
—報告書—

発行	恵那市役所 企画部企画課 〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 TEL 0573-26-2111 (代) FAX 0573-25-6150 E-mail info@city.ena.lg.jp URL http://www.city.ena.lg.jp/
発行年月	平成20年10月